

看護学部 看護学科 2年次 シラバス

開設科目名	カトリックの愛の精神Ⅱ	科目コード	BSNLH201	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手信	担当者	井手信、寺浜亮司		
授業の概要(授業の目的)					
本科目では、人間の尊厳の尊重を基盤としたケアの実践を目的として、保健医療福祉における全人的苦痛とケアの実践、特に、スピリチュアリティ(霊性)、スピリチュアルケア(霊的ケア)について学ぶ					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 医療福祉における全人的苦痛(トータルペイン)および全人的医療/ケアの概念を知る					
2) スピリチュアルニーズのアセスメントができる			いのちの尊重/倫理的体質		
3) ロイ適応看護モデルにおけるスピリチュアルケアの実際について説明することが出来る					
4) 全人的ケアの基本を実践できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	全人的苦痛(トータルペイン)/ケアの概念 スピリチュアリティとは?	講義 <面接>	井手信	人間のスピリチュアル(霊的)な側面について テキスト① 第1、2章を読んでおくこと	4時間
2	スピリチュアルアセスメント スピリチュアルニーズのアセスメント	講義 <面接>	井手信	テキスト① 第5、6章を読んでおくこと	4時間
3	スピリチュアルアセスメント アセスメント事例検討	講義 <面接>	井手信	テキスト① 第5、6章を読んでおくこと	4時間
4	スピリチュアルケア スピリチュアルケアの実際	講義 <面接>	井手信	テキスト① 第4章および6、7章を読んでおくこと	4時間
5	ロイ適応モデルにおけるスピリチュアルケアの実際	講義 <面接>	井手信	テキスト① 6、7章。 テキスト② 自己概念の項を参照のこと	4時間
6	全人的ケアの実践	講義 <面接>	井手信	臨床事例検討	4時間
7	臨床における全人的苦痛とケア	講義 <面接>	井手信	臨床事例のプレゼンテーション(ゲストスピーカー)	4時間
8	宗教とスピリチュアルケア・苦しみ・祈り・希望	講義 <面接>	寺浜	対面授業が可能となった場合、当日は雪の聖母聖堂 内で講義の後、祈りの方法等を学ぶ	4時間
成績評価方法・基準	授業外レポート 50%、授業内レポート 50% (井手 信)				
課題に対するフィードバック	提出された課題レポートおよびリアクションペーパーについては次回授業内でコメントを伝えフィードバックする				
教科書	① エリザベス・ジョンストン・テイラー：スピリチュアルケア 看護のための理論・研究・実践 医学書院 ② シスター・カリスタ・ロイ ザ・ロイ適応看護モデル 医学書院				
参考書・参考文献	ミルトン・メイヤロフ：ケアの本質 ゆみる出版				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	井手信 オフィスアワー：水曜日 16：30～17：30 連絡先：2号館2階 学院長室 メールアドレス：n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：建学の精神に基づく全人的ケアの理解は、看護専門科目(特にロイモデルの自己概念)の理解につながることを意識して勉強を深めてください。				

開設科目名	キリスト教概論Ⅱ	科目コード	BSNLH202	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	寺浜亮司	担当者	寺浜亮司、井手公平		
授業の概要(授業の目的)					
<p>神と人間との関わり、イエス・キリストとは。かけがえのない「いのち」を尊重し、弱い立場に置かれた人々のもとへ出向き、ともに生きたイエス・キリストに倣う。福音書のイエスやイエスとともに生きた人々の歩みを通して、看護について考えていく。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 聖書(福音書)を読み、キリスト教の歴史及びキリスト教的人間観を学ぶ			いのちの尊重 キリスト教倫理		
2) 私たち人類、特に、弱い立場にある人々に対するキリストのいつくしみと愛を知る					
3) キリストの愛を知ることによって建学の精神に基づいた看護/ケアリングを実践することができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	キリスト教と看護 マザーテレサの生涯 弱い立場に置かれた人々とともに	講義 <面接>	寺浜	資料配布	4時間
2	聖書と脳科学から見た人間論	講義 <面接>	井手	創世記2章、いのちへのまなざし第1章	4時間
3	ホスピタリティ	講義 <面接>	井手	聖書箇所は当日指示	4時間
4	命の輝き	講義 <面接>	井手	聖書箇所は当日指示	4時間
5	語りかける神	講義 <面接>	井手	聖書を読む:学修箇所は当日指示	4時間
6	寄り添う者の存在について 神の愛(カリタス) 支援の中心	講義 <面接>	寺浜	カリタス資料配布	4時間
7	自分と他者、異なる存在を知る	講義 <面接>	寺浜	資料配布	4時間
8	人間の苦悩と死について キリストとともに歩む	講義 <面接>	寺浜	資料配布	4時間
成績評価方法・基準	各講義後の全リアクションペーパーにて評価する(寺浜・井手)				
課題に対するフィードバック	アドバイスや質問には、リアクションペーパー、面談等、個別に応える				
教科書	聖書 新共同約—旧約聖書続編付き 日本聖書協会 日本カトリック司教団 :いのちへのまなざし(増補新版) カトリック中央協議会				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	寺浜亮司(非常勤講師) 質問はリアクションペーパーで受付けます。 * 人間の尊厳を尊重した全人的ケアの基盤であるキリスト教的人間観をしっかり学んでください。 * 井手公平先生の講義で「いのちへのまなざし」を使用します。忘れずに持参してください。				

開設科目名	臨床栄養学	科目コード	BSNLH203	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	立野順子	担当者	立野順子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>栄養代謝学で学修した基本的な栄養と代謝に関する知識を発展させ、高血圧・糖尿病・脂質異常症・腎臓病等のさまざまな疾患のある人々の病態の成因、進展、治癒と栄養のかかわりについて学修する。また、患者の病態や疾患に応じた栄養管理を理解し、患者や家族への教育に役立つ知識を身に付ける。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 栄養ケアの役割を理解する。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. さまざまな治療法と栄養ケアの連携を理解する。					
3. 治療における疾患及び病態の経過を学び、患者のQOLや心理状況を理解する。					
4. 疾患・病態に対応した、栄養評価、栄養補給法を習得する。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	臨床栄養の概念。意義と目的 栄養ケアの基礎	対面	立野	教科書を読んでおく	4時間
2	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 代謝・内分泌疾患・消化器疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
3	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 循環器疾患・腎疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
4	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 神経疾患・呼吸器疾患・血液系疾患・筋・骨格疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
5	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 免疫・アレルギー疾患・感染症	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
6	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア がん・周術期の管理	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
7	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 摂食障害・乳幼児・小児の疾患・妊産婦・授乳期の疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
8	疾患・病態別の栄養ケアアセスメントと栄養ケア 高齢者の疾患	対面	立野	事前配布資料と教科書を読んでおく	4時間
成績評価方法・基準	定期試験(80%) 小テスト(20%)				
課題に対するフィードバック	・講義内に小テストを行い、後日解答解説を行う				
教科書	健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学 改訂第3版 南江堂				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ	立野順子(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	健康障害論 I	科目コード	BSNLH204	開設期	2年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、今村豊、大崎浩一、岡村孝、福井卓子、飛永覚		
授業の概要 (授業の目的)					
健康障害 (疾病) の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ (呼吸器疾患、循環器疾患、造血器・血液疾患)。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連	
1. 健康障害 (疾病) の病態生理を理解し、説明できる				医療の基礎 / ロイ適応看護モデル	
2. 健康障害 (疾病) の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	呼吸器疾患の症状と診断治療予後① 感冒・インフルエンザ・肺炎等	講義 <面接>		教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
2	呼吸器疾患の症状と診断治療予後② 慢性閉塞性肺疾患・間質性肺炎等	講義 <面接>		教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
3	呼吸器疾患の症状と診断治療予後③ 肺がん、じん肺、気管支喘息等	講義 <面接>		教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
4	呼吸器疾患の症状と診断治療予後④ 急性呼吸促拍症候群、呼吸性アシドーシス・呼吸性アルカローシス等	講義 <面接>		教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
5	呼吸器疾患の症状と診断・治療・予後⑤ 胸膜・縦郭・横隔膜疾患、肺塞栓、気胸等	講義 <面接>		教科書①の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
6	循環器疾患の症状と診断治療予後① 循環器必須の解剖・生理	講義 <面接>	中山	循環器必須の解剖・生理について学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
7	循環器疾患の症状と診断・治療・予後② 虚血性心疾患、心不全、血圧異常	講義 <面接>	中山	安定冠動脈疾患、急性間症候群等について学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
8	循環器疾患の症状と診断・治療・予後③ 不整脈・弁膜症・先天性心疾患	講義 <面接>	中山	徐脈性、頻脈性不整脈、弁膜症、ファロー四徴症などについて学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨み、復習を行う。	4 時間
9	循環器疾患の症状と診断・治療・予後④ 動脈系疾患・静脈系疾患・リンパ系疾患	講義 <面接>	中山	大動脈瘤、大動脈解離、バージャー病、レイノー病、静脈瘤などについて学修する。教科書②の各疾患のページを読み、予習して講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
10	血液疾患の症状と診断・治療・予後① 貧血の分類と治療 (鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血、輸血・輸血後 GVHD)	講義 <面接>	今村	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
11	血液疾患の症状と診断・治療・予後② 白血病 (急性白血病・慢性白血病)	講義 <面接>	今村	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
12	血液疾患の症状と診断・治療・予後③ 悪性リンパ腫・紫斑病	講義 <面接>	大崎	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
13	血液疾患の症状と診断・治療・予後④ 血友病・播種性血管内凝固症候群 (DIC)	講義 <面接>	岡村	教科書③の各疾患のページを読み、予習をして講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4 時間
14	検査・治療・処置 (エコー、画像診断、肺機能検査等)	講義 <面接>	飛永	血液検査、心電図検査等について講義中に配布された資料を基に復習に取り組む。	4 時間
15	人間ドック検査 (血液検査、腫瘍マーカー)	講義 <面接>	福井	人間ドック検査等について講義中に配布された資料を基に復習に取り組む。	4 時間
成績評価方法・基準	① 筆記試験 100% (担当者全員による評価)				
課題に対するフィードバック	講義した授業項目について小テストを行い、その解説を行う				

<p>教科書</p>	<p>① 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学（2）呼吸器、医学書院 ② 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学（3）循環器、医学書院 ③ 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学（4）血液・造血器</p>
<p>参考書・参考文献</p>	<p>特になし</p>
<p>オフィスアワー、学習相談 メッセージ、その他</p>	<p>中山和道（2号館1階212研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。</p>

開設科目名	健康障害論Ⅱ	科目コード	BSNLH205	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、東治道、寺田貴武、杉山徹、堀大蔵		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解すると共に、症状、診断、治療、予後について学ぶ(口腔、消化器疾患、腎泌尿・生殖器疾患、産科疾患)。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	消化器疾患の症状診断治療予後①食道・胃・十二指腸疾患(食道癌、アカラシア、胃炎・胃十二指腸潰瘍・胃癌等)	講義 <面接>	中山	人体の構造と機能の消化器系の解剖生理を復習の上講義に臨む。教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
2	消化器疾患の症状・診断・治療・予後②大腸・小腸疾患(感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、腸閉塞、ヘルニア、大腸がん、痔核等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
3	消化器疾患の症状・診断・治療・予後③肝疾患(A型・B型・C型肝炎、肝癌、肝硬変、門脈圧亢進症等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
4	消化器疾患の症状・診断・治療・予後④胆のう疾患(胆石症、胆嚢・胆管癌等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
5	消化器疾患の症状・診断・治療・予後⑤膵臓疾患(膵炎(急性膵炎・慢性膵炎)、膵臓癌等)	講義 <面接>	中山	教科書①の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
6	歯科・口腔疾患の症状・診断・治療・予後 う蝕、歯周病、口腔癌(舌癌)等	講義 <面接>	中山	教科書⑤の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
7	腎・泌尿器疾患の症状・診断・治療・予後：慢性腎臓病・慢性腎不全と血液浄化療法(血液透析、腹膜透析)	講義 <面接>	東	教科書②の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
8	泌尿器疾患の症状・診断・治療・予後：尿路感染症、前立腺肥大症、膀胱癌、前立腺癌等	講義 <面接>		教科書②の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習をすること。	4時間
10	女性医学	講義 <面接>	寺田	教科書③を用いて予習をして講義に臨む。講義後は講義内容を復習すること。	4時間
11	生殖・内分泌疾患等	講義 <面接>	寺田	教科書③の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
12	婦人科腫瘍	講義 <面接>	杉山	教科書③の該当疾患のページを予習して講義に臨み、講義後に復習すること。	4時間
13	産科①妊娠の異常・ハイリスク妊娠とは	講義 <面接>	堀	教科書④ 妊娠の異常、ハイリスク妊娠などについて事前に学修し、講義に臨む。講義の復習に取り組む。	4時間
14	産科②異常妊娠、流産、妊娠高血圧症候群 多胎妊娠他、偶発全身性疾患(婦人科疾患は除く) 糖尿病・妊娠糖尿病他	講義 <面接>	堀	教科書④ 流産・妊娠高血圧症候群、多胎妊娠他、偶発全身性疾患(婦人科疾患は除く)糖尿病・妊娠糖尿病他について、事前に学修して講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間
15	産科③胎児発育異常・胎児機能不全	講義 <面接>	堀	教科書④ 胎児発育異常、胎児機能不全、分娩の異常について事前に学修して講義に臨む。講義後は復習に取り組む。	4時間

成績評価方法・基準	筆記試験 100% (担当者全員による評価)
課題に対するフィードバック	講義した授業項目について小テストを行い、その解説を行う
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ① 系統看護学講座、専門分野 成人看護⑤ (消化器) 医学書院 ② 系統看護学講座 専門分野 成人看護⑧ (腎・泌尿器) 医学書院 ③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑨ (女性生殖器) 医学書院 ④ 系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学 (2) 医学書院 ⑤ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑮ (歯科・口腔) 医学書院
参考書・参考文献	特になし
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	中山和道 (2号館 1階 212 研究室)、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。 注意：講義は複数の講師が担当します。健康障害 (疾患) の後に、講師の名前があります。講師の都合で順番が入れ替わる ことがありますので、時間割表をみて、どの講師が講義を担当するかをチェックして、予習をしてください。

開設科目名	健康障害論Ⅲ	科目コード	BSNLH206	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、神保幸太郎、原田一宏、阿部俊文、森本修充		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ(運動器疾患・神経・感覚器疾患、精神疾患)					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	運動器疾患の症状・診断・治療・予後① 必須の解剖・機能	講義 <面接>	神保	運動器必須の解剖・機能 教科書①を活用して予習・復習に取り組む。	4時間
2	運動器疾患の症状・診断・治療・予後② 骨折、脱臼、捻挫、打撲	講義 <面接>	神保	骨折の分類、症状・治療、脱臼、捻挫の治療など 教科書①を活用して予習・復習に取り組む	4時間
3	運動器疾患の症状・診断・治療・予後③ 脊髄疾患、上肢および下肢の疾患	講義 <面接>	神保	脊椎損傷、末梢神経損傷、腱鞘炎損傷など 教科書①を活用して予習・復習に取り組む	4時間
4	眼科疾患の症状・診断・治療・予後① 機能障害、結膜疾患、眼底疾患	講義 <面接>	原田	眼の構造と機能、屈折、調節の異常、結膜疾患など 教科書③を活用して予習・復習に取り組む	4時間
5	眼科疾患の症状・診断・治療・予後② 白内障、緑内障	講義 <面接>	原田	白内障、緑内障の原因、症状・治療など 教科書③を活用して予習・復習に取り組む	4時間
6	耳鼻咽喉疾患の症状・診断・治療・予後① 外耳・中耳・内耳疾患	講義 <面接>		耳の構造と機能、急性・慢性中耳炎など 教科書④を活用して予習・復習に取り組む	4時間
7	耳鼻咽喉疾患の症状・診断・治療・予後② 鼻・咽喉頭疾患	講義 <面接>		メニエール病、鼻出血、副鼻腔炎、気道異物など 教科書④を活用して予習・復習に取り組む	4時間
8	皮膚疾患の症状・診断・治療・予後① 表在性皮膚疾患、物理・化学的皮膚障害	講義 <面接>	阿部	皮膚の構造と機能、湿疹・皮膚炎群、尋麻疹群、薬疹 など教科書②を活用して予習復習に取り組む	4時間
9	皮膚疾患の症状・診断・治療・予後② 腫瘍および色素異常症	講義 <面接>	阿部	メラノサイト系腫瘍、間葉系腫瘍など 教科書②を活用して予習復習に取り組む	4時間
10	皮膚疾患の症状・診断・治療・予後③ 微生物・動物が関与する疾患	講義 <面接>	阿部	一般細菌感染症、ウイルス感染症など 教科書②を活用して予習復習に取り組む	4時間
11	麻酔：麻酔一般	講義 <面接>	中山	局所麻酔、全身麻酔の基本、全身麻酔時の麻酔深度 と臨床徴候など	4時間
12	精神疾患の症状、診断、治療、予後①	講義 <面接>	森本	精神疾患について書籍を用いて自己学修を行い、予習 をして講義に臨む。終了後は、配布された講義資料を 参考に講義の復習に取り組む。	4時間
13	精神疾患の症状、診断、治療、予後②	講義 <面接>	森本	精神疾患について書籍を用いて自己学修を行い、予習 をして講義に臨む。終了後は、配布された講義資料を 参考に講義の復習に取り組む。講義の復習	4時間
14	精神疾患の症状、診断、治療、予後③	講義 <面接>	森本	精神疾患について書籍を用いて自己学修を行い、予習 をして講義に臨む。終了後は、配布された講義資料を 参考に講義の復習に取り組む。	4時間
15	まとめ	講義	中山	全体の振り返りを行う。	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100% (担当者全員で評価を行う)				
課題に対するフィードバック	授業内容について最後の回でまとめの講義等を行う				
教科書	① 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器、医学書院 ② 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [12] 皮膚、医学書院 ③ 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [13] 眼、医学書院 ④ 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉科、医学書院				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワ・学習相談 メッセージ・その他	中山和道(2号館1階212研究室)、オフィスアワー：火曜日12:10～13:10 ※授業項目を十分に理解するためには1年次の解剖学・生理学・病理学の理解が前提です。復習をしておくこと。				

開設科目名	健康障害論Ⅳ	科目コード	BSLH207	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	福田賢治、福島由尚、高橋研二、松下知永、佐藤雄一、中野輝明、秋田幸大、河野剛、横地賢興		
授業の概要(授業の目的)					
健康障害(疾病)の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ(内分泌・代謝疾患、免疫・アレルギー疾患・脳神経疾患)。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 健康障害(疾病)の病態生理を理解し、説明できる				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2. 健康障害(疾病)の症状、診断、治療、予後を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	脳・神経 必須の解剖・機能(意識障害、高次脳機能障害、運動機能障害)	講義 <面接>	福田	脳・神経必須の解剖・機能(意識障害・高次脳機能障害・運動機能障害等) 教科書①を活用して予習復習に取り組む。	4時間
2	脳・神経疾患の症状、診断、治療、予後① 脳血管障害(くも膜下出血、脳出血、脳梗塞)	講義 <面接>	福島	くも膜下出血、脳出血、脳梗塞について学修する。 教科書①を活用して予習復習に取り組む	4時間
3	脳・神経疾患の症状、診断、治療、予後② 脳腫瘍、脳の感染症、頭部外傷	講義 <面接>	高橋	主な脳腫瘍、脳膿瘍、頭部外傷などについて学修する。 教科書①を活用して予習復習に取り組む	4時間
4	脳・神経疾患の症状、診断、治療、予後③ 脳神経系の感染症、てんかん・認知症	講義 <面接>	松下	水頭症、急性脊髄炎、頸椎症、腰椎症、脳炎、髄膜炎、認知症を呈する主な疾患について学修する。 教科書①を活用して予習復習に取り組む。	4時間
5	内分泌疾患の症状、診断、治療、予後①	講義	佐藤	教科書②の糖尿病の章を読み予習をして講義に臨む。講義の後は、復習に取り組む。	4時間
6	代謝・糖脂質代謝	<面接>			4時間
7	内分泌疾患の症状、診断、治療、予後② 甲状腺疾患(バセドウ病、橋本病)、副甲状腺機能亢進、副甲状腺機能低下症	講義 <面接>	佐藤	教科書②の該当疾患の章を読み、予習をして講義に臨む。受講後は、復習に取り組む	4時間
8	内分泌疾患の症状、診断、治療、予後③ 下垂体疾患(先端巨大/巨人症、尿崩症等) 副腎疾患(クッシング症候群、褐色細胞腫)	講義 <面接>	佐藤	教科書②の疾患の章を読み、予習をして講義に臨む。 受講後は、復習に取り組む	4時間
9	免疫・アレルギー(膠原病)疾患の診断、治療、予後①免疫の仕組みとアレルギー疾患	講義 <面接>	中野	教科書③のアレルギーの章を読み、予習をして講義に臨む。終了後は講義の復習に取り組む。	4時間
10	免疫・アレルギー(膠原病)疾患の診断、治療、予後②関節リウマチ等	講義 <面接>	中野	予習をして講義に臨む。終了後は講義の復習に取り組む。	4時間
11	免疫・アレルギー(膠原病)疾患の診断、治療、予後③全身性エリテマトーデス、強皮症等	講義 <面接>	中野	予習をして講義に臨む。終了後は講義の復習に取り組む	4時間
12	感染症 免疫機能低下に伴う感染症について	講義 <面接>	中野	テキストの予習と復習、講義の復習	4時間
13	小児の呼吸器疾患、気管支喘息、川崎病、児童虐待	講義 <面接>	秋田	教科書④ 第7章および第8章 川崎病 教科書⑤ 3章10 被虐待児と家族の看護	4時間
14	小児の免疫疾患(自己免疫性脳炎、原発性免疫不全)、急性脳症、食物アレルギー	講義 <面接>	河野	教科書④ 第5章、第13章	4時間
15	小児の感染症、予防接種、	講義 <面接>	横地	教科書④ 第6章 教科書⑤ 2章3 幼児期の子どもによくみられる健康問題(2) 感染; 予防接種	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100%(担当者全員で評価する)				
課題に対するフィードバック	質問等には講義終了時に対応します				

<p>教科書</p>	<p>① 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護⑦ 脳・神経疾患 ② 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護⑥ 内分泌、代謝 医学書院 ③ 系統看護学講座、専門Ⅱ 成人看護⑩ アレルギー・膠原病、感染症 医学書院 ④ 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学 2 医学書院 ⑤ ナーシンググラフィカ小児看護学① メディカ出版</p>
<p>参考書・参考文献</p>	<p>特になし</p>
<p>ワイア- 学習相談 メッセージ その他</p>	<p>中山和道（2号館1階212研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。 注意：講義は複数の講師が担当します。健康障害（疾患）の後に、講師の名前があります。講師の都合で順番が入れ替わる ことがありますので、時間割表をみて、どの講師が講義を担当するかをチェックして、予習をしてください。</p>

開設科目名	薬理学	科目コード	BSNLH208	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	首藤真帆美	担当者	首藤真帆美、首藤隆秀		

授業の概要(授業の目的)

薬物の起源、性状、生体に対する作用、作用機転、吸収、生体内変化、排泄、治療的応用、中毒、製剤、薬物の取り扱い管理などについて講義する。内容としては、総論では①薬理作用の分類 ②薬物の種類、効き方 ③薬物の吸収・排泄 ④用量と薬理作用 ⑤薬物の毒性などで、各論では①中枢神経作用薬 ②末梢神経作用薬 ③自律神経作用薬 ④循環器・呼吸器作用薬 ⑤消化器作用薬 ⑥抗生物質・抗腫瘍薬などで、代替療法、さらに東洋医学的な漢方・鍼灸についても学ぶ。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) 薬物の生体に対する作用、作用機転、吸収、分布、代謝、排泄、治療的応用、中毒、薬物の取り扱い、管理などについて述べるができる。
- 2) 中枢神経作用薬、末梢神経作用薬、循環器作用薬、呼吸器作用薬、利尿薬、消化器作用薬などについて主な作用と副作用、臨床応用について述べるができる。
- 3) これらの知識を応用して適切な服薬指導を行うことができる。

- 3 看護実践知識
- 4 論理的・科学的問題発見力
- 5 問題解決判断力

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	薬理学の概念、薬理作用の分類、薬物の種類 薬の効き方(作用機序、機転)	講義<面接>	首藤	復習: 冊子として配布されているシラバスを講義後に読むこと	4時間
2	薬物の生体膜通過、 薬物の吸収・分布、 薬物の代謝・排泄	講義<面接>	首藤	教科書の薬の効き方の図を見て復習する 教科書の吸収・分布の図を見て復習する 教科書の代謝・排泄の図を見て復習する	4時間
3	薬物動態値、用量と薬理作用	講義<面接>	首藤	用量と薬理作用の図を描いて復習する	4時間
4	応用法と薬理作用、 反復応用と薬理作用	講義<面接>	首藤	応用法ごとの長所・短所をまとめる 反復応用であることを述べる	4時間
5	薬物の併用でみられる作用、 薬物に対する反応性の違い・薬物の毒性	講義<面接>	首藤	拮抗について教科書の図を見て復習する 教科書の薬物アレルギーの図を見て復習する	4時間
6	麻酔薬・睡眠薬	講義<面接>	首藤	教科書の麻酔薬・睡眠薬の図を見て復習する	4時間
7	抗けいれん薬・抗てんかん薬 鎮痛薬・解熱薬	講義<面接>	首藤	教科書の抗てんかん薬の図を見て復習する 教科書の鎮痛薬の図を見て復習する	4時間
8	向精神薬・中枢興奮薬	講義<面接>	首藤	教科書の向精神薬の図を見て復習する	4時間
9	アルコール 抗パーキンソン病薬・認知症治療薬	講義<面接>	首藤	教科書のアルコールの図を見て復習する 教科書の抗パーキンソン病薬の図を見て復習する	4時間
10	局所麻酔薬・筋弛緩薬	講義<面接>	首藤	教科書の局所麻酔薬・筋弛緩薬の図を見て復習する	4時間
11	自律神経作用薬	講義<面接>	首藤	教科書の自律神経作用薬の図を見て復習する	4時間
12	循環器作用薬・血液作用薬・生体内活性物質	講義<面接>	首藤	教科書の循環器作用薬・血液作用薬の図を見て復習する	4時間
13	呼吸器作用薬・利尿薬	講義<面接>	首藤	教科書の呼吸器作用薬・利尿薬の図を見て復習する	4時間
14	消化器作用薬 化学療法薬、抗生物質、抗腫瘍薬	講義<面接>	首藤	教科書の消化器作用薬の図を見て復習する 教科書の化学療法薬の図を見て復習する	4時間
15	ホルモン及びその関連物質 代替療法、東洋医学的な漢方・鍼灸	講義<面接>	首藤	教科書のホルモン及びその関連物質の図を見て復習する 教科書の東洋医学的な漢方の図を見て復習する	4時間

成績評価方法・基準 ①定期試験(筆記試験) 100%(首藤)

課題に対するフィードバック 講義内に小テストを行い、その解答解説を行う

教科書 田中正敏著『新版 超図解 薬はなぜ効くか』講談社 2023

参考書・参考文献 特になし

オフィス
学習相談 首藤真帆美(非常勤)
メッセージ 講義にパワーポイント使用。別途シラバスを配布するので講義の要点をその都度記載していくこと
その他

開設科目名	データテラシー演習	科目コード	BSNLH209	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 小田まり子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>データテラシー基礎を発展させたパソコン演習によって、データを活用した意思決定に必要な手法としての推測統計の思考と、その背景にある統計学の基礎知識を学ぶ。</p> <p>また、地域の健康課題解決のためのデータ利活用にもむけ、AIプログラミングを体験し、トライアンドエラーを通して論理的思考を身に付ける。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 実データを用いて、データの可視化ができる。				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2) 推測統計の意味を理解し、仮説検証型の分析ができる。					
3) JMPとプログラミングソフトの操作ができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	データの構造と分布 —変量の記述統計	講義・演習 (面接)	堤	予習:教科書 P6~31 を読んでおく。 復習: JMP による一変量の記述統計。	4 時間
2	データマネジメント —データクレンジングとハンドリング	講義・演習 (面接)	堤	予習: 課題データのデータ構造の確認。 復習: 検証する仮説を考える。	4 時間
3	クロス集計と仮説検定	講義・演習 (面接)	堤	予習: 教科書 P86~92、P120~125 を読んでおく。 復習: JMP による演習課題を行う。	4 時間
4	方法および結果のレポート表現	講義・演習 (面接)	堤	予習: 演習で生じた質問を明らかにしておく。 復習: レポート作成。	4 時間
5	レポートのフィードバック 母比率の検定とサンプルサイズ 回帰分析	講義・演習 (面接)	堤	予習: 教科書 P114~119 を読んでおく。 復習: レポートの見直し。	4 時間
6	AIとビッグデータ —データ・AI 利活用の最新動向	講義・演習 (面接)	小田 堤	復習: ICT テクノロジーの看護への応用を考察する。	4 時間
7	プログラミング演習 —プログラミング用語の理解	演習 (面接)	小田 堤	予習: 前回授業内容を振り返る。 復習: 授業で提示された課題のプログラミングを行う。	4 時間
8	プログラミング演習 —AI の基本的仕組み	演習 (面接)	小田 堤	予習: 前回授業内容を振り返る。 復習: 授業で提示された課題のプログラミングを行う。	4 時間
成績評価方法・基準	データ分析レポート 100% (評価者: 堤)				
課題に対するフィードバック	レポートに対する指導は、授業のなかで一部取り上げて共有し、個別にもフィードバックします。				
教科書	豊田修一他著『やさしい統計処理』実教出版				
参考書・参考文献	柳川堯他著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』 三井正著『JMP ではじめるデータサイエンス』				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>本科目は、society5.0 に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。「データテラシー基礎」等で学んだ知識に積み上げ、統計ソフト JMP の演習を通し、データ分析の実際を体験します。また、久留米工業大学 AI 応用研究所の先生と共に、AI 技術の実際に触れ、プログラミングの一部を楽しく学びます。</p> <p>対面授業は、パソコン室(242 教室)で行います。各自で USB メモリーを持参してください。また、JMP は個人のノートパソコンにインストールすることができます。希望者は総務課 清水、眞鍋までご相談ください。</p> <p>堤 千代(2 号館 1F 220 研究室) オフィスアワー: 火曜 12:10~13:10 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com</p> <p>私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。これまで研究で用いた方法の基礎的内容について、授業全般を通して教授します。</p>				

開設科目名	看護診断学	科目コード	BSNBA201	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき、石本祥子		
授業の概要(授業の目的)					
看護診断の歴史、概念を理解した上でロイ適応看護モデルに基づき各適応様式に沿って、行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断までのプロセスを case study を基に学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護診断の歴史、概念を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. ロイ適応看護モデルの生理的様式・自己概念様式・役割機能様式・相互依存様式における看護診断までのプロセスと看護診断カテゴリーについて述べる事が出来る。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護診断の歴史と看護診断の概念	講義 <対面>	日高	教科書①の第2部、看護診断を事前に読んで予習し講義に参加すること。講義終了後に復習に取り組む。	4時間
2	ロイ適応看護モデルに基づく看護過程	講義 <対面>	日高	教科書②の第2章～第4章を事前に読んで予習し講義に参加すること。講義終了後に復習に取り組む。	4時間
3	酸素摂取における看護診断	講義 <対面>	石本	教科書②の第5章、酸素摂取 Case Study① 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
4	栄養における看護診断	講義 <対面>	石本	教科書②の第6章、栄養 Case Study② 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
5	排泄における看護診断	講義 <対面>	石本	教科書②の第7章、排泄 Case Study③ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
6	活動と休息における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第8章、活動と休息④ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
7	防衛における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第9章、防衛 Case Study⑤ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
8	感覚における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第10章、感覚 Case Study⑥ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
9	体液、電解質・酸・塩基平衡における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第11章、体液、電解質・酸・塩基平衡⑦ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
10	内分泌機能における看護診断	講義 <対面>	小浜	教科書②の第13章、内分泌機能 Case Study⑧ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
11	神経機能における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第12章、神経機能⑨ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
12	自己概念様式における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第14章、自己概念様式 Case study⑩ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
13	役割機能様式における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第15章、役割機能様式 Case Study⑪ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
14	相互依存様式における看護診断	講義 <対面>	日高	教科書②の第16章相互依存様式 Case Study⑫ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
15	まとめ(4つの適応様式の Case Study 他)	講義 <対面>	日高	教科書② Case Study⑬ 配布された Case study について予習復習を行う。	4時間
成績評価方法・基準	レポート100%(評価者:科目責任者)				
課題に対するフィードバック	講義で実施した Case study については各担当教員が返却します。				
教科書	① 監訳 日本看護診断学会, NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023. 医学書院, 2021 ② 松木光子監訳, ザ・ロイ適応看護モデル第2版, 医学書院, 2010. ③ 病気がみえるシリーズ: 1 消化器, 2 循環器, 3 糖尿病・代謝・内分泌, 4 呼吸器, 7 脳・神経, 8 腎・泌尿器, 11 運動器・整形外科, 医療情報科学研究所編集, メディックメディア 注意) 上記教科書は基盤臨床看護学領域の他の科目および臨床実習においても使用します				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	日高艶子(7号館3階731研究室)、オフィスアワー: 金曜日16:00-17:00 本科目の受講要件は、看護学総論、臨床看護学概論、臨床看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベル1の単位を修得し、臨床基礎技術論Ⅱ、スキルラボ基礎レベル2を受講し、学習目標に到達する見込みのある者とする。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。第2回については、Roy Academia Nursology Research Center が取り組んでいる研究成果を一部参照して、講義を展開します。				

開設科目名	スキルラボ臨床レベル 1	科目コード	BSNBA202	開設期	2 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	演習
責任者	小浜さつき	担当者	小浜さつき、日高艶子、鶴田明美、中村和代、川口賀津子、吉里孝子、石本祥子、有働由樹、綱脇慎治、長友奈央、桐明祐弥		

授業の概要 (授業の目的)

看護診断学で学習したロイ適応看護モデルの生理的様式の行動のアセスメント、刺激のアセスメントを行うために必要な成人期にある対象者の身体診察技術を習得する、また、小児・妊娠期・老年期などの特定の成長発達段階に応じた身体診察技術を習得する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1) フィジカルアセスメントの基本技術 (視診・触診・聴診・打診) を実施できる。	医療の基礎/ロイ適応看護モデル
2) フィジカルアセスメントに必要な身体の各部位の名称やランドマークを述べるができる。	
3) 胸部、腹部、骨・関節、皮膚・リンパ、感覚・神経のフィジカルアセスメントで確認すべき項目を列挙し、安全・安楽に配慮して実施できる。	
4) 小児・妊娠期・老年期などの成長発達に応じた身体診察技術を習得する。	

授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	フィジカルアセスメントの基本技術 視診・聴診・触診・打診の技法	講義と実技 〈面接〉	○小浜 (基盤臨床全教員)	教科書①第 8 章の p295 に記載されている胸部の骨格を予習してくる。T シャツを配布します。ランドマークや基本的な解剖構造を確認し、復習してみましょう。	4 時間
2	胸部のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	○有働 (基盤臨床全教員)	教科書①(第 8・9 章)を読んでおく、胸部の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅等で練習する、 演習内容の復習	4 時間
3 4	胸部のフィジカルアセスメント② Skills Lab. 学習到達度評価、フィードバック	実技〈面接〉			4 時間
5	腹部のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	○石本 (基盤臨床全教員)	教科書①(第 11 章)を読んでおく、腹部の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅で練習する、 演習内容の復習	4 時間
6	腹部のフィジカルアセスメント② Skills Lab. 学習到達度評価、フィードバック	実技〈面接〉			4 時間
7	骨・関節のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	○綱脇 (基盤臨床全教員)	教科書①(第 16 章)を読んでおく、骨・関節の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅で練習する、 演習内容の復習	4 時間
8	骨・関節のフィジカルアセスメント② Skills Lab 学習到達度評価、フィードバック。	実技〈面接〉			4 時間
9	皮膚・リンパのフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	○長友 (基盤臨床全教員)	教科書①(第 6・12 章)を読んでおく、皮膚・リンパの事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅で練習する、 演習内容の復習	4 時間
10 11	皮膚・リンパのフィジカルアセスメント② Skills Lab 学習到達度評価、フィードバック	実技〈面接〉			4 時間
12	感覚・神経のフィジカルアセスメント①	講義と実技 〈面接〉	○日高、小浜 (基盤臨床全教員)	教科書①(第 7・17 章)を読んでおく、感覚・神経の事前課題をする。Stream で動画を視聴し自宅で練習する、 演習内容の復習	4 時間
13 14	感覚・神経のフィジカルアセスメント② Skills Lab 学習到達度評価、フィードバック	実技〈面接〉			4 時間
15	老年期のフィジカルアセスメント	講義と実技 〈面接〉	○小浜・綱脇 (基盤臨床全教員)	授業内ラボや自宅で繰り返し練習する	4 時間

成績評価方法・基準	学習到達度評価 100%（各担当教員がルーブリックを活用して学習到達度を評価します。合計得点を 100 点に換算します。）
課題に対するフィードバック	* 技術試験の結果・コメントはその日のうちにお知らせします。合格点に未到達の方には後日再試験を行います。
教科書	① Lynn S.Bickley 他著,福井次矢他監修:ペイツ診察法 第 2 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.
参考書・参考文献	Lynn S.Bickley 他著,福井次矢他監修:ペイツ診察法ポケットガイド 第 3 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.
オフィス 学習相談 メッセージ その他	<p>小浜さつき（2号館 1階 242 研究室）オフィスアワー： 火曜日 16：30～18：00</p> <p>フィジカルアセスメントをしっかり学んで確実に技術を習得しましょう。</p> <p>担当教員がグループの指導に入りますので、分からないことは積極的に質問して解決してください。</p> <p>正確で安全な技術習得のために、受講前後の自己学修が必須となります。しっかり自己学修を行って下さい。</p> <p>その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です</p> <p>ICT の活用：練習動画を Stream にアップしています。自宅での学修に使用してください。</p> <p>研究成果：教員の研究成果や、専門領域の看護実践について一部紹介します。</p>

開設科目名	成人・老年看護学ケア論 I	科目コード	BSNBA203	開設期	2年 前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、日高艶子、小浜さつき		
授業の概要 (授業の目的)					
成人老年看護学概論で学修した成人期の対象の特徴をふまえて、急性の経過をたどる患者、慢性の経過をたどる患者の適応を促す看護について学修する。さらに、ケーススタディを用いて行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断、目標設定、介入計画立案までを学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 急性及び慢性の経過をたどる患者・家族の特性を理解できる			医療の基礎		
2. 急性及び慢性の経過をたどる患者・家族の適応を促す看護について理解できる			ロイ適応看護モデル		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	急性の経過をたどる患者の特性と患者・家族に対する看護	講義<面接>	鶴田	教科書③p2-161 予習	4 時間
2	酸素摂取に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 221-239 予習	4 時間
3	酸素摂取に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 221-239 予習	4 時間
4	栄養・排泄に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 260-278 予習	4 時間
5	栄養・排泄に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	鶴田	教科書③ p 260-278 予習	4 時間
6	栄養・排泄に問題を持つ患者のケア③	講義 <面接>	鶴田 (GS)	講義資料配布	4 時間
7	防衛に問題を持つ患者のケア①	講義<面接>	鶴田	教科書③p336-354 予習	4 時間
8	防衛に問題を持つ患者のケア②	講義<面接>	鶴田	教科書③p336-354 予習	4 時間
9	慢性の経過をたどる患者の特性と患者・家族に対する看護	講義<面接>	日高	教科書④ p 2-150 予習	4 時間
10	酸素摂取に問題を持つ患者のケア③	講義<面接>	小浜	教科書④ p 250-275 予習	4 時間
11	活動と休息に問題を持つ患者のケア	講義<面接>	小浜	教科書④ p 250-275 予習	4 時間
12	内分泌機能に問題を持つ患者のケア	講義<面接>	小浜	教科書④ p 156-166、④p367-	4 時間
13	体液電解質、酸・塩基平衡に問題を持つ患者のケア	講義<面接>	小浜	399 予習	4 時間
14	神経機能に問題を持つ患者のケア	講義<面接>	日高	教科書④ p 167-177、p400-	4 時間
15	感覚に問題を持つ患者のケア	講義<面接>	小浜	418 予習	4 時間
成績評価方法・基準	・定期試験 90% ・小テスト 10% ・成績評価：鶴田、日高、小浜				
課題に対するフィードバック	事前課題 (ケーススタディ) は担当教員から事前に提示されます。 課題に対するフィードバックは、講義中または後日コメントを付して返却します				
教科書	① シスター・カस्ता・ロイ (2009) /松木光子監訳(2010) : ザ・ロイ適応看護モデル, 第 2 版, 医学書院. ② 監訳日本看護診断学会, N A N D A - I 看護診断 定義と分類 2021-2023, 医学書院, 2021. ③ 林直子他編 : 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護 (改訂第 4 版) , 南江堂, 2023. ④ 鈴木久美他編 : 成人看護学 慢性期看護 (改訂第 4 版) , 南江堂, 2023.				
参考書・参考文献	・「病気が見える」シリーズ ・佐藤まゆみ他編 : 成人看護学 急性期看護 II 救急看護・クリティカルケア (改訂第 4 版) , 南江堂, 2023.				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他	・オフィスワーク : 下記時間以外は事前に予約してください。 鶴田明美 (2 号館 1 階 223 号室) 火曜 16 : 00~17 : 00 tsuruta@stmaryacjp.onmicrosoft.com ・メッセージ : 人体の構造と機能、ロイ適応看護モデル入門の復習を行い講義に臨んでください。 ・その他 : この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	成人・老年看護学ケア論Ⅱ	科目コード	BSNBA204	開設期	2年 後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	中村 和代	担当者	中村 和代、網脇 慎治		
授業の概要(授業の目的)					
加齢に伴う身体・精神機能の変化と、高齢者に生じやすい症候や健康障害の発生機序について学ぶ。高齢者の特徴を踏まえたケーススタディを用いて、行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断、目標設定、介入計画立案までを学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 事例について高齢者の特徴を踏まえた適応促進への看護について説明できる			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 高齢者における食生活の意義・誤嚥リスクがある高齢者の看護について説明できる					
3. 転倒・骨折・廃用症候群のリスクが高い高齢者の看護について説明できる					
4. 排泄障害のある高齢者の看護について説明できる					
5. 睡眠障害のある高齢者の看護について説明できる					
6. 皮膚統合性障害リスクのある高齢者の看護について説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイドス/食生活に問題を持つ高齢者の看護	講義 ＜対面＞	中村	テキスト①第5章,B,F. 第4章,B.を読んで臨む	4時間
2	栄養・食生活に問題を持つ高齢者の看護 ケーススタディ: 食事と栄養	講義・討議 ＜対面＞	中村	第5章,B. を読んで臨む 事例の学修に取り組む	4時間
3	防衛に問題を持つ高齢者の看護 ケーススタディ: 防衛	講義・討議 ＜対面＞	中村	第4章,B.第5章D,第6章,A,を読んで臨む 事例の学修に取り組む	4時間
4	食事・防衛に問題を持つ高齢者の看護 まとめ	講義 ＜対面＞	中村	第4章,B. 第5章D, 第6章,Aを読んで臨む 事例の学修に取り組む	4時間
5	排泄(排尿)に問題を持つ高齢者の看護	講義 ＜対面＞	網脇	第4章,B.第5章C,第6章Bを読んで臨む 事例の学修に取り組む	4時間
6	排泄(排便)に問題を持つ高齢者の看護 ケーススタディ: 排泄	講義・討議 ＜対面＞	網脇	第4章,B.第5章Cを読んで臨む 事例の学修に取り組む	4時間
7	活動/休息に問題を持つ高齢者の看護 ケーススタディ: 活動/休息	講義・討議 ＜対面＞	網脇	第4章,B,第5章A,E, 第6章Bを読んで臨む 事例の学修に取り組む	4時間
8	排泄・活動/休息に問題を持つ高齢者の看護 まとめ	講義 ＜対面＞	網脇 中村	第4章B, 第5章E,第6章Bを読んで臨む	4時間
成績評価方法・基準	定期試験(70%), 授業内課題(20%), 参加態度(10%) 評価者: 中村、網脇				
課題に対するフィードバック	授業内課題は、採点后、返却いたします。				
教科書	①中島紀子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 ②シスター・カリスト・ロイ/松木光子監訳: ザ・ロイ適応看護モデル, 第2版, 医学書院 ③NANDA-1 看護診断定義と分類 医学書院				
参考書・参考文献	・山田律子他「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院 ・鳥羽研二他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」医学書院 ・太田喜久子 編著「老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護」第2版, 医歯薬出版株式会社,2017. ・泉 キヨ子他「看護実践のための根拠がわかる老年看護技術」第4版, メジカルフレンド社,2022. ・水野信子他「最新 老年看護学」日本看護協会出版会,2022 ・病気がみえる シリーズ, メディクメディア,2022.				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー: 毎週(月) 16:30-17:30, 学習相談は随時受け付けます。 中村 和代(6号館2階 625研究室、内線217), Office365のメールの利用も可 ケーススタディには、事前学修をして臨んでください。成人・老年看護学概論の復習をして臨みましょう。 *ICTの活用: 参考資料などはTeams「2024 成人・老年看護学ケア論Ⅱ」ファイル内にアップロードします。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	成人・老年看護学ケア論Ⅲ	科目コード	BSNBA205	開設期	2年 後期
単位数(履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	川口 賀津子	担当者	川口 賀津子、鶴田 明美		
授業の概要(授業の目的)					
本科目では、高度な医療の発展、在院日数の短縮化という社会的背景を踏まえ、急性期から慢性期・生活期へ、または慢性期から急性期へ、生活期から急性期へと移行していく成人期の患者に対する適応を促す看護について学修する。また、ケーススタディを基に、移行期における症状マネジメント・再発予防などの患者・家族への教育について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 今日の医療を取り巻く環境を踏まえ、急性期から慢性期・生活期へ、または慢性期から急性期へ、生活期から急性期へと移行していく成人期患者の適応を促す看護について理解を深める				医療の基礎	
2) ケーススタディをもとに、移行期における症状マネジメント・再発予防などの患者と家族への教育について理解を深める				ロイ適応看護モデル	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 今日の医療の発展、在院日数の短縮化、移行期していく患者の症状マネジメント・再発予防、患者と家族への教育	講義 <面接>	川口	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
2	生活期・慢性期から急性期へと移行していく患者と家族のケア ①	講義 <面接>	川口	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
3	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ②	講義 <面接>	川口	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
4	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ③	講義 <面接>	川口	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
5	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ④	講義 <面接>	鶴田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
6	急性期から慢性期・生活期へと移行していく患者と家族のケア ⑤	講義 <面接>	鶴田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
7	生活期・慢性期から急性期へと移行していく患者と家族のケア ⑥	講義 <面接>	鶴田	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
8	まとめ：移行期における患者と家族のケア	講義・討議 <面接>	各担当者	資料を配布。事後は内容の復習。	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験 80%、課題レポート 20%。 (評価者：川口、鶴田)				
課題に対するフィードバック	移行期の患者と家族のケアおよび教育的支援について理解を深めましょう。 課題レポートは後日コメントとともに返却します。				
教科書	① シスター・カस्ता・ロイ/松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル、第2版、医学書院 ② T.ハザー・ハードマン/上鶴重美：NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 原著第12版、医学書院 ③ 成人・老年看護学ケア論 I で用いた教科書・資料				
参考書・参考文献	・『病気がみえる』シリーズ				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	・オフィスアワー： 川口賀津子 鶴田明美(2号館1階223号室) 火曜 16:00~17:00 tsuruta@stmaryacjp.onmicrosoft.com ※上記時間以外は事前に予約をしてください。 ・移行期におけるケアの理解を深めるために、解剖生理、病態等の復習を十分に行なったうえで授業に臨んで下さい。ケーススタディや課題レポートを通して、移行期における患者と家族のケアについて理解を深めましょう。 ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	スキルラボ臨床レベル2	科目コード	BSNBA206	開設期	2年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	演習
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、中村和代、小浜さつき、川口賀津子、吉里孝子、石本祥子、網脇慎治、有働由樹、長友奈央、桐明祐弥		
授業の概要 (授業の目的)					
成人老年看護学ケア論Ⅰ・ケア論Ⅱ・ケア論Ⅲで習得した知識を基に、成人老年期にある患者の行動に影響を及ぼす刺激を調整するためのケア技術を習得する。医療技術の進歩に伴い医療現場で活用されている ME 機器 (医療工学機器) の取り扱いについても学習する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1. 酸素摂取、栄養、排泄、活動と休息、防衛、体液、電解質、酸・塩基平衡、服薬に関するケア技術を安全安楽に実施できる			医療の基礎		
2. ME 機器 (医療工学機器) を安全に操作する方法・留意点を習得できる			ロイ適応看護モデル		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	コースガイダンス 酸素摂取に関するケア技術① (酸素療法、モニター心電図、一時的吸引)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p288-312,427-429,443-444 提示された事前課題をする。	4 時間
2	酸素摂取に関するケア技術② Skill Lab	実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	スキルラボで技術練習を繰り返し行う	
3	酸素摂取に関するケア技術③ (人工呼吸、吸入療法、体位排痰法) 輸血に関するケア技術	討論・実技 (面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p297,301-302,312-313,403-410 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
4	防衛に関するケア技術 (創傷処置、無菌操作、ガウンテクニック)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p126-139,332-342 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
5	栄養に関するケア技術 (経管栄養・経鼻胃カテーテル法)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p169-174. 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
6	排泄に関するケア技術① (導尿、浣腸)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p194-202. 提示された事前課題をする。	4 時間
7	排泄に関するケア技術② Skill Lab	実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	スキルラボで技術練習を繰り返し行う	
8	活動と休息に関するケア技術 (移動)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 212-219,231-235. 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
9	防衛に関するケア技術 (褥瘡予防、体圧測定)	討論・実技(面接)	老年看護 担当者全員	教科書予習 p346-352. 提示された事前課題をする。	4 時間
10	体液、電解質、酸・塩基平衡に関するケア技術① (採血、静脈内注射、点滴管理・輸液ポンプ管理)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書 p392-398,432-433 予習。 提示された事前課題をする。 スキルラボで技術練習を繰り返し行う	4 時間
11	体液、電解質、酸・塩基平衡に関するケア技術② Skill Lab	実技(面接)	基盤臨床 担当者全員		
12	薬物療法に関するケア技術① (注射法)	討論・実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書 p375-391 予習。 提示された事前課題をする。	4 時間
13	薬物療法に関するケア技術② Skill Lab	実技(面接)	基盤臨床 担当者全員	スキルラボで技術練習を繰り返し行う	
14	与薬に関するケア技術 (与薬法)	討論・実技 (面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p366-374. 提示された事前課題をする。	4 時間
15	検査に関するケア技術 (尿、血液検査、画像検査等)	討論 (面接)	基盤臨床 担当者全員	教科書予習 p422-441. 提示された事前課題をする。	4 時間

成績評価方法・基準	技術試験 100% (担当教員全員)
課題に対するフィードバック	事前課題へのフィードバックは、後日コメントを付して返却します 技術試験の結果は、当日フィードバックします
教科書	松尾ミヨ子他編：ナースング・グラフィカ基礎看護学②基礎看護技術Ⅱ，第1版，2022
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・シスター・カリスタ・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院，2010. ・T.ヘザー・ハードマン／上鶴重美：NANDA- I 看護診断 定義と分類 2021-2023，原著第11版，医学書院，2021.
オフィス 学習相談 メッセー その他	<p>* オフィスアワー：鶴田明美（2号館1階 223号室）火曜 16:00~17:00 事前に連絡をしてください。</p> <p>・本科目の進め方：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に提示された事例について、デモンストレーション、クリティカルシンキング、ディスカッションの後に実技演習を行います。 ・第1回のコースガイダンスで各回の日程及び授業内容について説明します。 <p>各回の進行順及び担当者は変更になる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用：テキストに掲載されているアプリを技術の予習・復習に使用します。 ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。

開設科目名	適応促進基礎実習 I	科目コード	BSNBA207	開設期	2 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	45 時間	授業区分	実習
責任者	石本祥子	担当者	石本祥子、日高艶子、鶴田明美、中村和代、小浜さつき、川口賀津子、吉里孝子、有働由樹、綱脇慎治、長友奈央、桐原祐弥		
授業の概要 (授業の目的)					
成人期または老年期の患者の適応を促進するために、ロイ適応看護モデルに基づき、行動のアセスメント、行動に影響を及ぼしている刺激について検討し、看護診断を特定する。さらに、患者や家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 観察や測定の技術を用い、必要な情報を患者から系統的に収集できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 適応・非効果的行動の分類が出来る。					
3. 行動に影響を及ぼしている全ての刺激を抽出できる。					
4. 刺激を焦点刺激・関連刺激・残存刺激に分類できる。					
5. 看護診断を考えることが出来る。					
6. 最も重視した看護専門職として期待される意識や態度について述べることが出来る。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
月	実習オリエンテーション、病棟実習 (患者紹介、病例聴取、行動のアセスメント)	実習 (面接)	担当者全員	実習ハンドブック、オリエンテーション資料を読んでおく 患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習 ロイ適応看護モデルの復習 観察や測定の技術の復習 その他、関連科目の復習や各自の不足する内容を学習する	10 時間 以上
火	病棟実習 (行動のアセスメント・刺激のアセスメント)				
水	病棟実習 (行動のアセスメント・刺激のアセスメント)				
木	病棟実習 (行動のアセスメント・刺激のアセスメント)				
金	病棟実習、最終カンファレンス (考えられる看護診断の検討)				
成績評価方法・基準	適応促進基礎実習 I 評価表に基づく評価 100% 成績評価は、本実習を担当した教員全員で行います。				
課題に対するフィードバック	実習中のフィードバックは実習場、またはカンファレンスで随時実施する。 実習の全体を通しての評価は、実習終了日に各実習指導者、担当教員が最終カンファレンスにおいて実施する。				
教科書	①シスター・カリスト・ロイ/松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル第 2 版,医学書院, 2010. ②T.ヘザー・ハードマン/上鶴重美：NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 原著第 12 版,医学書院,2021.				
参考書・参考文献	①Lynn S. Bickley 他, 福井次矢監訳：ペイツ診療法 ポケットガイド第 3 版, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015. ②病気がみえるシリーズ				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	実習全般に関するお問い合わせ 石本祥子 (2 号館 1 階 224 研究室) オフィスアワー：水曜 12:10~13:10。 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。 メールアドレス：ishimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 各実習病棟での学習に関するお問い合わせは、実習担当教員にご連絡下さい。 ICT の活用：実習に必要な記録用紙は webclass にあります。各自で準備をお願いします。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 自身の研究成果と科目内容の関連はありません。				

開設科目名	適応促進基礎実習Ⅱ	科目コード	BSNBA208	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	川口賀津子	担当者	川口賀津子、日高艶子、鶴田明美、中村和代、小浜さつき、吉里孝子、石本祥子、網脇慎治、有働由樹、長友奈央、桐明祐弥		

授業の概要(授業の目的)

成人期または老年期の患者の適応を促進するために、ロイ適応看護モデルに基づき看護を実践する。また、対象者の生命・生活過程における適応レベル(統合・代償・障害)について考察する。さらに、患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) 観察や測定技術を用い、必要な情報を患者から系統的に収集できる。
- 2) 適応・非効果的行動の分類ができる。
- 3) 行動に影響を及ぼしている全ての刺激を抽出できる。
- 4) 刺激を焦点刺激、関連刺激、残存刺激に分類できる。
- 5) 看護診断をリストアップできる。
- 6) 看護診断の優先順位を考慮することができる。
- 7) 看護診断に沿って、対象に応じた目標設定ができる。
- 8) 刺激に介入するための看護計画を立案し介入できる。
- 9) 実施した看護の評価ができる。
- 10) 対象者の生命・生活過程における適応レベル(統合・代償・障害)について考察できる。
- 11) 看護専門職として期待される意識や態度について述べるができる。

医療の基礎/ロイ適応看護モデル

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1週目(月)	病棟オリエンテーション(患者紹介、病歴聴取、主訴のインタビュー)	実習 <面接>	担当者全員	実習ハンドブックおよびオリエンテーション資料を読んでおく 患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習 ロイ適応看護モデルの復習 観察や測定技術の復習 その他、各自の不足する内容を学習する	10時間以上
1週目(火)	系統的アセスメント(行動のアセスメント・刺激のアセスメント・考えられる看護診断)				
1週目(水)	系統的アセスメント(行動のアセスメント・刺激のアセスメント・考えられる看護診断)				
1週目(木)	系統的アセスメント(行動のアセスメント・刺激のアセスメント・考えられる看護診断) / 午後は学内				
1週目(金)	看護診断、問題関連図の検討、診断の優先順位の特定				
2週目(月)	看護介入計画の立案(最も重視する看護診断に対する目標と介入計画を検討する)				
2週目(火)	看護介入の実践・評価・計画の修正				
2週目(水)	看護介入の実践・評価・計画の修正				
2週目(木)	看護介入の実践・評価・計画の修正				
2週目(金)	実習全体の評価 サマリーの検討				

成績評価方法・基準	適応促進基礎実習Ⅱの評価表に基づく評価 100% (評価者：各実習担当教員)
課題に対するフィードバック	実習中のフィードバックは実習場、またはカンファレンスで随時実施する。 実習の全体を通しての評価は、実習終了日に各実習指導者、担当教員が最終カンファレンスにおいて実施する。
教科書	・シスター・カリスタ・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院，2010。 ・T.ヘザー・ハードマン／上鶴重美：NANDA- I 看護診断 定義と分類 2021-2023，原著第12版，医学書院，2021。
参考書・参考文献	・Lynn S. Bickley 他，福井次矢監修：バイツ診療法 ポケットガイド第3版，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015。 ・病気がみえるシリーズ
ワイアア- 学習相談 メッセージ その他	川口賀津子 (7号館4階 L742研究室) オフィスアワー： 曜 ～ ． 実習全般に関する問い合わせや相談は科目責任者、各実習病棟の実習に関する問い合わせ等は各指導教員にご連絡下さい。 実習担当教員は、実習オリエンテーションの際にお知らせします。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 この科目には情報リテラシー教育 (情報モラルに関する内容) も含まれます。 各担当教員が、専門とする看護実践領域の実習を担当できるようにしています。教員の研究成果を実習中に紹介することがあります。

開設科目名	母性看護学概論	科目コード	BSNBA209	開設期	2年 前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	桃井雅子	担当者	桃井雅子、川上桂子		
授業の概要(授業の目的)					
いのちを育む母性と女性への看護について、母子のいのちを尊重するケアについて学修する。 リプロダクティブ・ヘルスに関する基本的な概念と、母性看護の基本となる考え方について学ぶ。また、ウイメンズヘルスの視点から女性のライフサイクル各期における健康問題とその看護、さらに母性あるいは女性を取り巻く社会の状況と、そこで求められる看護及びチーム医療のあり方について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 母性看護・周産期看護における母子のいのちと人格の尊厳、専門職の尊厳を尊重することを考察できる。			医療の基礎/ロイ適応モデル		
2) 母性看護・周産期看護の基盤となる理念を理解し、看護者の使命と役割・責務を考察できる。					
3) 母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論を理解できる。					
4) 母性看護・周産期看護における倫理的課題を理解し、看護者の使命と役割・責務を考察できる。					
5) 女性のライフサイクル各期における健康課題と看護を理解し、各期の看護について考察できる。					
6) 母子保健・母子福祉の現状を理解し、看護者の使命と役割・責務を考察できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	母性看護・周産期看護におけるいのちと人格の尊厳の尊重 倫理的課題と看護者の使命、役割・責務	講義 <対面>	桃井	予習： ・関連する既習科目を復習しておく ・教科書 第5章 第1節 を読んでおく	4時間
2	母性看護・周産期看護の基盤となる理念と看護者の役割	講義 <対面>	桃井	予習：教科書 第3章 第3節 を読んでおく 復習：学修した内容の振り返り・考察	4時間
3	母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論 ① 「リプロダクティブ・ヘルス&ライツ」「ヘルスプロモーション」他	講義 <対面>	川上	予習：教科書 第1章 第1節、第3章 を 読んでおく	8時間
4	母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論 ② 「愛着」、「役割移行」「親役割」他	講義 <対面>	桃井	復習：学修した内容の振り返り・考察	
5	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ① 総論、思春期	講義 <対面>	桃井	予習：教科書 第2章を読み、関心のある テーマについて事前に文献探索などの	4時間
6	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ② 成熟期・更年期(一部、老年期を含む)	講義 <対面>	桃井	個人学修を行い、授業に臨む。	4時間
7	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ③ 生殖器疾患を有する女性の看護	講義 <対面>	桃井	復習：学修した内容の振り返り・考察	4時間
8	母子保健・母子福祉の現状と看護者の役割 現状の理解、看護者の役割・責務の理解と考察 本科目のまとめ	講義 <対面>	桃井	予習：教科書 第4章を読み、関心のある テーマについて事前に文献検索などの 個人学修を行い、授業に臨む 復習：学修した内容の振り返り・考察	4時間
成績評価方法・基準	・授業外レポート100%(桃井)				
課題に対するフィードバック	・課題のフィードバックは講義中と、本科目終了後(総評)に学内限定の電子メール配信システムを活用して実施します。				
教科書	有森直子編著(最新版)：母性看護学I 概論 第2版，医歯薬出版，東京。				
参考書・参考文献	教皇庁 保健医療従事者評議会(2016)：生命倫理についての新しい指針 ～いのちと健康に奉仕するすべての人に向けて～， インターメディカ，東京。 *その他、各授業内容に応じて、参考書・参考文献をご紹介します。				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	* オフィスアワー：水曜日 16:30~18:00 * 学習相談：随時受け付けます。 2号館1階 L213 メールアドレス： momoi@stmaryacjp.onmicrosoft.com * メッセージ： 本科目を通して、母性看護・周産期看護の看護ケア者として、母子のいのちと人格の尊厳を尊重すること、また、いのちのはじまり(誕生)を護り支えるために、私たち看護者には何が期待されているかについて、深く考える時を持ってください。 * その他： この科目は看護職の実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。女性の意思決定支援に関する授業(主に第1・2回、第5~7回)においては「女性の妊孕性に関する意思決定とその看護」の研究成果を、一部、参照して授業を展開します。				

開設科目名	母性看護学ケア論 I	科目コード	BSNBA210	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	井口亜由	担当者	井口亜由、浅野美智留、川上桂子、柳本朋子		
授業の概要(授業の目的)					
母性看護学概論で学んだ母性看護の基本的となる概念とケアのあり方、専門職者としての責務と役割を踏まえて、妊娠期・分娩期・産褥期、胎児期・新生児期の正常な経過にある母子と家族の身体的、心理・社会的、精神的な特徴と、適応を促進するための看護を学修する。また、正常からの逸脱を予防する看護、逸脱の早期発見と対処のための看護について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 妊娠期・分娩期・産褥期、胎児期・新生児期(以下、周産期)の正常な経過にある母子と家族の身体的、心理・社会的、精神的な特徴を理解することができる。			医療の基礎/ロイ適応モデル		
2) 周産期の正常な経過にある母子とその家族の適応を促進するための看護を根拠に基づき理解することができる。					
3) 周産期の母子とその家族の正常からの逸脱を予防するための看護を根拠に基づき理解することができる。					
4) 周産期の母子とその家族の意思決定を支える看護を理解し考察することができる。					
5) 母性看護の基本となる概念とケアの在り方を基に、母子と家族を取り巻く社会状況とその変化に応じた周産期看護における専門職者としての使命、責務・役割について、考察することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科目ガイダンス、周産期における看護について 妊娠期① 妊娠の成立・維持、胎児の成長・発達	講義 (面接)	井口 柳本	「母性看護学概論」で学修した周産期看護の理念、概念等を振り返り、各回の授業に臨む	1時間
2	妊娠期② 妊娠期の身体的特徴・変化、適応を促す看護	講義 (面接)	柳本	予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認 復習：各回で学んだ看護を深めるための方法(リソース)を活用して探索を試み、看護について考察を深める	1時間
3	妊娠期③ 妊娠期の心理・社会的、精神的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	柳本		1時間
4	妊娠期④ 妊娠期の正常からの逸脱を予防する看護と逸脱の早期発見	講義 (面接)	柳本		1時間
5	分娩期① 分娩の定義・要素・経過と機序	講義 (面接)	川上		予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認 各回の授業で提示された事前課題に各自で取り組む 復習：授業内容の振り返りと考察
6	分娩期② 分娩期の身体的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	川上	1時間	
7	分娩期③ 分娩期の心理・社会的、精神的特徴・変化と適応を促す看護	講義 (面接)	川上	1時間	
8	分娩期④ 分娩期の正常からの逸脱を予防する看護	講義 (面接)	川上	1時間	
9	産褥期① 産褥期の復古と適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	浅野	予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認 復習：各回で学んだ看護を深めるための方法(リソース)を活用して探索を試み、看護について考察を深める	1時間
10	産褥期② 産褥期の進行性変化と適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	浅野		1時間
11	産褥期③ 産褥期の自己概念・役割機能・相互依存の適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	浅野		1時間
12	新生児期① 胎児期・出生直後の新生児の身体的特徴・変化と適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	井口	予習：教科書の該当箇所(事前周知)確認と事前学修 Forms への回答 復習：授業内容の振り返りと考察ならびに Forms への回答	1時間
13	新生児期② 早期新生児期の身体的特徴・変化と適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	井口		1時間
14	新生児期③ 新生児期全体の身体的特徴・変化と適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	井口		1時間
15	新生児期④ ハイリスク新生児の身体的特徴・変化と適応を促す看護と逸脱の予防	講義 (面接)	井口		1時間

開設科目名	小児看護学概論	科目コード	BSNBA211	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	中村真弓	担当者	中村真弓		
授業の概要(授業の目的)					
子どもの身体、生理的特徴、精神、運動、社会的発達を理解し、健やかな健康と子どもに必要な環境を学修する。そして、小児の諸理論や家族、子育て支援について学修し、子どもの権利を踏まえた小児看護の役割を学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 子どもの人格の尊厳と子どもの権利を志向し、小児看護の専門職者としての役割を理解できる。				医療の基礎/ロイ適応看護モデル	
2) 子どもを取り巻く環境(人的環境、社会的環境を含む)と環境との相互作用を理解できる。					
3) 小児看護学における主要概念と諸理論を理解できる。					
4) 子どもの成長・発達について、発達段階ごとの特徴とその評価の方法を理解できる。					
5) 子どもと家族を取り巻く環境を理解し、子どもと家族の健やかな成長・発達に向けた支援を考察・探求することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション 小児看護の対象と目標・役割と子どもの権利	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 1章 1、3 復習: 授業内容の復習	4時間
2	小児看護の歴史と変遷 子どもを取り巻く社会環境、法律と施策	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 1章 2、4 復習: 授業内容の復習	4時間
3	小児看護における主要な概念・理論	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 1章 5 復習: 授業内容の復習	4時間
4	乳児期の子どもの成長と発達の特徴	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 2章 1、2 復習: 授業内容の復習	4時間
5	幼児期の子どもの成長と発達の特徴①	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 2章 3 復習: 授業内容の復習	4時間
6	幼児期の子どもの成長と発達の特徴②	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 2章 3 復習: 授業内容の復習	4時間
7	学童期・思春期の子どもの成長と発達の特徴	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 2章 4、5 復習: 授業内容の復習	4時間
8	子どもの成長と発達の特徴・発育の評価 本科目のまとめ	講義 <面接>	中村	予習: 1. 教科書 2章 6 復習: 授業内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 80%, レポート課題 20%				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、コメントをつけて返却する。				
教科書	1. 中野綾美編集『ナーシング・グラフィカ小児看護学 ①小児の発達と看護 第7版』メディカ出版、2023				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・片田範子 編 『こどもセルフケア看護理論』医学書院 2019. ・シスター・カリスト・ロイ著: ザ・ロイ適応看護モデル 第2版 医学書院 2014. ・厚生労働統計協会 厚生の指標増刊 国民衛生の動向 2023/2024. ・恩賜財団母子愛育会 愛育研究所編『日本子ども資料年鑑 2024』KTC 中央出版 2024. ・中野綾美編集: ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術 第5版 メディカ出版 2023. ・大城昌平 他編: 子どもの感覚運動機能の発達と支援 発達の科学と理論を支援に活かす、メジカルビュー社 2018. ・日本プライマリ・ケア連合学会 他編: プライマリ・ケア看護学 小児期から成人期への移行支援 家族をケアユニットとした看護 南山堂 2023. ・奈良間美保他: 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学1 医学書院 第14版 2023. 				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	オフィス: 水 12:10~13:10 (L724 研究室) 事前に教科書は読んでおくこと。講義中に配布した資料は次回までに再度、復習すること。 質問事項に対しては講義終了後に質問を受け付けますが、その他の時間の場合にはご相談ください。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	小児看護学ケア論 I	科目コード	BSNBA212	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	中村 真弓	担当者	中村真弓、山口智治、朝川貴博、大西哲郎、坂田友		
授業の概要(授業の目的)					
小児看護学概論の学修を踏まえ、健康障害をもつ子どもの特徴と影響を学び、子どもの適応を促進するための基本的な看護の知識と態度を獲得する。また、子どもを支えるための家族支援や地域活動について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. RAMの4様式の視点から子どもの特徴を説明することができる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 健康障害が子どもや家族に及ぼす影響について説明することができる。					
3. 病気の病期や治療、症状と子どもの成長・発達をつなげて考え、必要な看護について考察することができる。					
4. 子どもの病気が家族に及ぼす影響について考察することができる。					
5. 子どもと家族の適応を促進する基本的な看護の知識と姿勢を獲得することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) *遠隔授業の方法: Teams、一部 Zoom を使用した同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション 生理的様式からみた子どもの特徴①	講義(面接)	中村 山口	1.教科書2章、3章1、2を予習 小児看護学概論の資料を復習	1時間
2	生理的様式からみた子どもの特徴②	講義(面接)	山口	1.教科書2章、3章1、2を予習 小児看護学概論の資料を復習	1時間
3	生理的様式からみた子どもの特徴③	講義(面接)	朝川	1.教科書2章、3章1、2を予習 小児看護学概論の資料を復習	1時間
4	自己概念様式からみた子どもの特徴	講義(面接)	中村	1.教科書1章5、2章、3章1、7を予習	1時間
5	役割機能様式からみた子どもの特徴 相互依存様式からみた子どもの特徴			1.教科書p113のAR視聴 2.教科書1章、2章 小児看護学概論の資料を復習	1時間
6	健康障害や入院が子どもに及ぼす影響と看護	講義(面接)	中村	1.教科書3章1を予習	1時間
7	生命兆候が危険な状況にある子どもと家族への看護	講義(面接)	大西	1.教科書3章2を予習 2.教科書8章を予習	1時間
8	子どもの権利擁護と看護ケア 検査や処置を受ける子どもと家族への看護	講義(面接)	坂田	1.教科書3章1、5を予習 1.教科書1章3を予習	1時間
9	手術を受ける子どもと家族への看護	講義(面接)	山口	1.教科書3章6、4章5を予習 2.教科書7章 3.教科書9章、17章	1時間
10	先天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護	講義(面接)	中村	1.教科書3章6、7、8を予習 1.教科書4章3を予習 3.教科書1章、8章	1時間
11	慢性期にある子どもと家族への看護	講義(面接)	山口	1.教科書3章3を予習 2.教科書7章 3.教科書4章、12章	1時間
12	障がいをもつ子どもと家族への看護	講義(面接)	中村	1.教科書3章3・8、4章4を予習 3.教科書13章	1時間
13	感染性疾患をもつ子どもと家族への看護	講義(面接)	中村	3.教科書6章	1時間
14	在宅における子どもと家族への看護	講義(面接)	中村	1.教科書3章8を予習 3.教科書13章	1時間
15	成人への移行期にある子どもと家族への看護	講義(面接)	山口	1.教科書4章7を予習	1時間

成績評価方法・基準	定期試験 100% 評価者：担当者全員
課題に対するフィードバック	適宜質問に応じる。
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中野綾美編集：ナーシング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護 第7版，メディカ出版，2023. 2. 中野綾美編集：ナーシング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術 第5版，メディカ出版，2023. 3. 奈良間美保他：系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学2 医学書院，2023. 4. Lynn S.Bickley 他著，有岡宏子他監修：ペイト診察法 第3版。メディカル・サイエンス・インターナショナル，2022. 5. シスター・カリスタ・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院，2014. 6. 日本看護診断学会監訳，NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023. 医学書院，2021
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・片田範子編集：こどもセルフケア看護理論. 医学書院 2019 ・浅野みどり 他編集：発達段階からみた小児看護過程 第4版. 医学書院 2021. ・山口桂子 他編集：エビデンスに基づく小児看護ケア関連図. 中央法規出版 2016. ・田口智章編集：ナースのための小児・新生児の外科疾患 完全マスターガイド. メディカ出版 2018. ・伊原崇晃編集：ナースのための小児フィジカルアセスメント. 金芳堂 2022. ・稲毛康司編集：症候から入る小児の身体診察. 文光堂 2020. ・大城昌平 他編：子どもの感覚運動機能の発達と支援 発達の科学と理論を支援に活かす. メジカルビュー社 2018. ・日本プライマリ・ケア連合学会 他編：プライマリ・ケア看護学 小児期から成人期への移行支援 家族をケアユニットとした看護 南山堂 2023
オフィス 学習相談 メッセージ その他	オフィス 中村：水 12：10～13：10 (L724 研究室) 山口：火 12：10～13：10 (L216 研究室) 学習相談は適宜受け付けます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 評価については、科目の評価終了後に一定期間を設けて質問や疑問に対応します。

開設科目名	がん看護学	科目コード	BSNBA213	開設期	2年 後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (選択)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	川口賀津子	担当者	川口賀津子、小浜さつき、石本祥子、尾形由貴子		
授業の概要 (授業の目的)					
本科目では、人々を取り巻く環境の変化や高齢化により急増するがん患者の看護について学ぶ。具体的には、がん患者の理解に必要な医学的基礎的知識、ならびに検査や治療を理解し、療養過程における心理、意思決定、セルフケアを支える患者と家族への看護支援について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) がんおよびがん医療について理解を深める			医療の基礎 ロイ適応看護モデル		
2) がんの治療の特殊性を理解し、各治療にもなう看護支援について理解を深める					
3) がんの療養過程における患者とその家族を理解し、継続的な看護支援について理解を深める					
4) がん性疼痛および疼痛緩和の具体的な支援について理解を深める					
5) がん患者の療養の場における看護支援について理解を深める					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 今日のがん医療と看護の発展、課題	講義<面接>	川口	教科書①p2-72を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
2	がんの検査・治療の特殊性と看護の理解：化学療法 および放射線療法を受ける患者の看護	講義<面接>	尾形	教科書①p122-195を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
3	がんの療養過程における患者と家族への看護： 診断期・治療期・エンド・オブ・ライフ期の看護① 心理・意思決定	講義<面接>	川口	教科書①74-119を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
4	がんの療養過程における患者と家族への看護： 診断期・治療期・エンド・オブ・ライフ期の看護② セルフケア・症状マネジメント	講義<面接>	川口	教科書①74-119を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
5	がん患者の療養の場における看護 外来、在宅、ホスピス病棟における看護	講義<面接>	川口 GS	教科書①p198-256を予習しておく。 事後は内容の復習。	4時間
6	がん患者と家族への看護のケーススタディ①	講義・討議<面接>	石本	資料を配布。事後は内容の復習。	4時間
7	がん患者と家族への看護のケーススタディ②	講義・討議<面接>	小浜	資料を配布。事後は内容の復習。	4時間
8	がん患者と家族への看護のケーススタディ③	講義・討議<面接>	川口	資料を配布。事後は内容の復習。	4時間
成績評価方法・基準	講義後のレポート80%(川口) 講義後のレポート 20% (小浜、石本)				
課題に対するフィードバック	レポートは後日コメントとともに返却します。				
教科書	鈴木久美 他 (2021) がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える。南江堂。				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	・オフィスアワー：川口賀津子 (7号館4階 L742号室) ; 火曜 16:30~17:30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス： @stmaryacjp.onmicrosoft.com ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	リハビリテーション看護学	科目コード	BSNBA214	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき、佐藤友紀、飛永浩一朗		
授業の概要(授業の目的)					
<p>リハビリテーションとは、障がいのある人が“地域で地域の人々の支援を受けながら誇りを持って生活できること”を目指す活動といえる。リハビリテーション看護の目標は、多職種と協働し障がいのある人のセルフケアの再構築を促進することである。本講義では、主に、脳卒中の後遺症である運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下障害、排泄障害を呈した患者に対する、専門的な評価や介入について学ぶ。また、障がいのある人の環境への適応を促す看護について学ぶ。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. リハビリテーションの意味、リハビリテーション看護の目標と看護師の役割を説明できる。			医療の基礎/ロイ適応看護モデル		
2. 運動機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
3. 高次脳機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
4. 嚥下機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
5. 障がいのある人の環境への適応を促す看護について述べるができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	リハビリテーションの概念一定義と目的 定義に影響を与えたノーマライゼーションの思想とIL 運動	講義(対面)	日高	講義前に配布した資料を予習し講義に臨み、講義後は復習に取り組む。	4時間
2	リハビリテーション看護の視点—リハビリテーション看護の目標と看護師の役割	講義(対面)	日高	講義前に配布した資料を予習し講義に臨み、講義後は復習に取り組む。	4時間
3	運動機能障害のアセスメントと介入①	講義(対面)	飛永 小浜	・運動機能障害のアセスメントと介入について、理学療法士による講義を行います。 ・嚥下関連筋を支配する神経を復習し講義に臨むこと。講義内容を復習すること。	4時間
4	運動機能障害のアセスメントと介入② 嚥下機能障害のアセスメントと介入①				4時間
5	高次脳機能障害のアセスメントと介入①	講義(対面)	日高	教科書①5章2節を事前に読んで予習すること。 講義内容を復習すること。	4時間
6	高次脳機能障害のアセスメントと介入②	講義(対面)	日高	教科書①5章2節を事前に読んで予習すること。 講義内容を復習すること。	4時間
7	排泄機能障害—ポケットエコーを用いたアセスメントと介入	講義(対面)	佐藤 (CNS)	専門看護師によるポケットエコーを用いたアセスメントについて学修します。講義中に配布した資料を復習すること。	4時間
8	ロイ適応看護モデルに基づくリハビリテーション看護 ・変化した環境への適応とコーピング ・ケアリング行為と適応	講義(対面)	日高	ロイ適応看護モデルについて復習して講義に臨むこと。講義中に配布した資料を復習すること。	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100% (評価者: 科目責任者)				
課題に対するフィードバック	講義内で提出されたレポートやリアクションペーパーは、後日返却します。				
教科書	① 鈴木純恵他編集, 成人看護学 健康危機状況/セルフケアの再獲得, ナーシング・グラフィカ、メディカ出版				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・奥宮暁子監訳: リハビリテーション看護の実践、日本看護協会出版会、八代英太編: ADAの衝撃、学苑社、1996. ・石合純夫: 高次脳機能障害学、医歯薬出版株式会社、2004. ・上田敏: リハビリテーションを考える、青木出版、2000. ・ノーマライゼーション—社会福祉サービスの本質、ヴォルフエンズベルガー著、学苑社、1982. ・井林雪郎編集、脳卒中リハビリテーションとチーム医療・メディカルレビュー社、2012. ・金田嘉清・大塚圭編集: リハビリテーション、放送大学教育振興会、東京都、2019. 				
アドバイザー 学習相談 メッセージ その他	<p>日高艶子 (7号館3階、731研究室) オフィスアワー: 金曜日 16:00-17:00 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 本科目は、日高の「高次脳機能障害者のセルフケア再獲得を促す看護介入モデルの構築」の研究成果をもとに講義を行います。</p>				

開設科目名	精神看護学概論	科目コード	BSNGC201	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本科目では、ライフサイクルとこころの健康について学修し、次いで精神障がい者と家族を理解するために時代や地域に様々な影響を受けてきた精神医療と看護の歴史について学ぶ。さらに、精神障がい者と家族が地域の中でコミュニティに所属し、地域の人々と協働・連携できる地域文化を創造するための視点を学ぶ。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) ライフサイクル各期における心の危機的状況と心のケアについて理解できる。			地域の人との連帯・協働 ケア環境の構築		
2) ストレス対処、適応および心の健康の概念を理解できる。					
3) 精神医療の変遷と現状を知り、精神障がい者が生きる環境について考えることができる。					
4) 精神障がい者が地域で生活するために必要な考え方を理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ライフサイクルにおけるメンタルヘルス (1)周産期～学童期の精神の健康	講義(面接)	谷	テキスト第Ⅲ章 3-2、3-3を読んでおく。	4時間
2	(2)思春期・青年期の精神の健康	講義(面接)	谷	テキスト第Ⅲ章 3-4を読んでおく。	4時間
3	(3)成人期の精神の健康① 燃え尽き症候群、他	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする。	4時間
4	(4)成人期の精神の健康② ハラスメント、他	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする。	4時間
5	(5)成人期の精神の健康③ 看護師のストレス	講義(面接)	谷	テキスト第Ⅲ章 3-5、第Ⅳ章 1-10を読んでおく。	4時間
6	(6)家庭における精神の健康	講義(面接)	谷	テキスト第Ⅲ章 1を読んでおく。	4時間
7	心のはたらき 自我の防衛機制	講義・ワーク(面接)	谷	テキスト第Ⅰ章 6を読んでおく。	4時間
8	精神医療の変遷、精神障がい者が地域で生活するための 取り組み	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする。	2時間
成績評価方法・基準	授業内・授業後の課題の内容および授業参加態度 100% (谷)				
課題に対するフィードバック	講義中にフィードバックします。				
教科書	・精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 南江堂 2022				
参考書・参考文献	特に指定しない				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	谷多江子(6号館622研究室) オフィスアワー:月曜日16:30~17:30 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	精神看護学ケア論 I	科目コード	BSNGC202	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	谷 多江子	担当者	谷 多江子、倉成 由美		
授業の概要(授業の目的)					
本科目では、当事者の生きる世界を学び、当事者の持つ自己概念や、精神科における治療・看護が心(精神)にもたらす影響、必要な支援について考察する。また、当事者と治療的な関係を構築するために、自己理解を深める方法を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 精神障がいを持つ患者の体験について理解を深めることができる。			地域の人との連帯・協働 ケア環境の構築		
2) 身近な精神疾患と必要な看護について理解できる。					
3) 代表的な精神機能検査および精神療法について説明できる。					
4) 精神医療に関する法律、人権擁護について説明できる。					
5) 治療的なコミュニケーション技術を身につけ利用することができる。					
6) こころを健康に保つための考え方について理解を深めることができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	精神障がい者の世界① 体験の理解	DVD 視聴(面接)	谷、倉成	事前に統合失調症について調べておく	1時間
2	精神障がい者の世界② まとめ	DVD 視聴(面接)	谷、倉成	※課題は講義中に提示します	1時間
3	症状と看護① 摂食障害	講義(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅵ章 3-3-2 D1 を読んでおく	1時間
4	症状と看護③ 不安障害	講義(面接)	倉成	テキストⅡ 第Ⅵ章 3-3-2 C1 を読んでおく	1時間
5	症状と看護③ 発達障害 ASD/ADHD	講義(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅵ章 3-3-2 I を読んでおく	1時間
6	症状と看護④ 発達障害 LD/DCD	講義(面接)	谷	配布資料の復習をする	1時間
7	精神機能検査の理解と体験	講義・体験(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅶ章 1 を読んでおく	1時間
8	精神療法の理解と体験	講義・体験(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅷ章 2-A を読んでおく	1時間
9	SST、CBT の理解	講義(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅷ章 2-C を読んでおく	1時間
10	治療的関係、治療的コミュニケーション	講義(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅷ章 3-C-3 を読んでおく	1時間
11	傾聴の体験、プロセスレコード	講義・体験(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅷ章 3-D を読んでおく	1時間
12	精神看護における看護理論、心の健康の維持	講義・体験(面接)	谷、倉成	テキストⅡ 第Ⅵ章 5-B、第Ⅷ章 3-C-3 を読んでおく	1時間
13	精神医療に関する法律、制度、人権擁護	講義(面接)	倉成	テキストⅠ 第Ⅱ章 1-1~1-3 を読んでおく	1時間
14	精神障がいを持つ患者の家族、心理教育	講義(面接)	谷	テキストⅡ 第Ⅷ章 2-B を読んでおく	1時間
15	地域で生活する精神障がい者の理解	講義(面接)	谷	精神障がい者の生活の現状をまとめる	1時間
成績評価方法・基準	①小テストおよび定期試験 50% (谷、倉成) ②クラス参加度(態度と各回の課題の内容) 50% (谷、倉成)				
課題に対するフィードバック	講義中にフィードバックします。				
教科書	・精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 南江堂 2022 ・精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア 南江堂 2022				
参考書・参考文献	特に指定しない				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	谷 多江子(6号館622研究室) オフィスアワー:月曜日16:30~17:30 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第14回については、「精神看護学の授業方法」に関する研究成果を一部参照して講義を展開します。				

開設科目名	地域・在宅看護学概論	科目コード	BSNGC203	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	橋口ちどり	担当者	橋口ちどり、高本佳代子		
授業の概要(授業の目的)					
本科目は、家族や組織・コミュニティ・グローバル社会を含む集団に対する看護について学ぶための基礎となる科目である。地域の構造と機能について理解し、集団としての地域の人々、また地域で生活する在宅療養者と家族の尊厳を尊重し、統合に向けて適応を維持・促進するための看護について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
①集団の健康を維持促進するために、地域の構造と機能について理解する。			◎地域の人々との連帯・協働 ROI適応看護モデル		
②在宅看護の歴史を説明できる。					
③ROI適応看護モデルを基盤とした在宅療養者と家族の看護について理解できる。					
④臨床と在宅における看護実践の特徴を述べることができる。					
⑤在宅療養生活を支える社会保障制度を含めた地域包括ケアシステムを理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	在宅看護の歴史と変遷、今日的課題	講義「対面」	橋口	講義内容を復習すること	4時間
2	集団の健康を維持促進するための地域の構造と機能①	講義「対面」	高本	講義内容を復習すること	4時間
3	集団の健康を維持促進するための地域の構造と機能②	講義「対面」	高本	講義内容を復習すること	4時間
4	ROI適応看護モデルに基づく在宅看護過程	講義「対面」	橋口	ROI適応看護モデルについて予習しておく	4時間
5	ROI適応看護モデルに基づく集団の物理的様式(家族の定義・構成員・地域)	講義「対面」	橋口	ROI適応看護モデルに基づく集団の物理的様式について予習しておく	4時間
6	ROI適応看護モデルに基づく集団の物理的様式(経済的背景・療養環境)	講義「対面」	橋口	ROI適応看護モデルに基づく集団の物理的様式について予習しておく	4時間
7	ROI適応看護モデルに基づく集団の物理的様式(対象の多様性)	講義「対面」	橋口	ROI適応看護モデルに基づく集団の物理的様式について復習すること	4時間
8	ROI適応看護モデルに基づく集団のアイデンティティ様式(事例を用いた学修)	講義「対面」	橋口	ROI適応看護モデルに基づく集団のアイデンティティ様式について予習しておく	4時間
9	ROI適応看護モデルに基づく集団の役割機能様式(家族介護者の課題)	講義「対面」	橋口	ROI適応看護モデルに基づく集団の役割機能様式について予習しておく	4時間
10	ROI適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式(社会資源：介護保険制度)	講義「対面」	橋口	介護保険制度について復習すること	4時間
11	ROI適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式(社会資源：訪問看護制度)	講義「対面」	橋口	訪問看護制度について復習すること	4時間
12	ROI適応看護モデルに基づく集団の相互依存様式(多職種連携)	講義「対面」	橋口	多職種連携について復習すること	4時間
13	臨床と在宅における看護実践の違い	講義「対面」	橋口	講義内容を復習すること	4時間
14	地域包括ケアシステム①	講義「対面」	高本	講義内容を復習すること	4時間
15	地域包括ケアシステム②	講義「対面」	高本	講義内容を復習すること	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験 80% (評価者：科目責任者) 講義参加態度 20% (評価者：科目責任者)				
課題に対するフィードバック	講義に関する質問に回答していきます。				
教科書	① 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 2022 ② 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院 2022 ③ ROI適応看護モデル 第2版 医学書院 ④ NANDA I 看護診断定義と分類 2021-2023 ⑤ 厚生統計協会：国民衛生の動向 2022/2023				
参考書・参考文献					
オフィス学習相談 メッセージ その他	橋口ちどり オフィスアワー(火) 12:10~13:10 7号館 744室(内線744) 講義の質問や意見は随時受け付けますが事前にメールでお知らせください。 hashiguchi@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 この科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます				

開設科目名	地域・在宅看護学ケア論	科目コード	BSNGC204	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	本田歩美	担当者	本田歩美、橋口ちどり、日高艶子		
授業の概要(授業の目的)					
地域・在宅看護学概論で学修した在宅療養者と家族の特徴を踏まえ、ケーススタディを用いて病態や障害の視点から医療および生活ニーズのアセスメント、介入計画立案について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 対象者の生活環境、病態および障害の視点から生活ニーズを考えることができる				地域の人々との連帯・協働 ROI適応看護モデル	
2. ROI適応看護モデルを用いて対象者の行動と刺激のアセスメントができる					
3. 在宅療養を支える家族、コミュニティおよび在宅ケアに関わる他職種について理解することができる					
4. 対象者とその家族を対象とした看護診断を抽出できる					
5. 看護診断に沿って対象者とその家族に必要なケアについて看護目標の設定、介入計画を立案できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	授業オリエンテーション 介護保険制度について(講義) 事例1(2人暮らしの虚弱高齢者)のアセスメント	講義・演習 (面接)	本田・橋口	提示した事例1のアセスメントと関連図の作成に取り組む	4時間
2	集団(個人と家族)を対象としたROI適応看護モデルを用いた看護過程の展開	講義(面接)	日高	ROI適応看護モデル 第2版を復習しておく	4時間
3	事例1: 関連図の検討、個人・家族の看護診断と介入計画の立案	討議・演習 (面接)	本田・橋口	事例1の関連図を修正する 個人と家族、それぞれの看護診断における介入計画の立案に取り組む	4時間
4	事例1: 介入計画のディスカッション / まとめ	演習・討議 (面接)	本田・橋口	介入計画の発表および修正	4時間
5	COPDの病態、在宅療養に伴う経済的課題と社会保障制度	講義(面接)	本田	配布資料の復習	4時間
6	事例2(生活保護を受給しているCOPDをもつ独居高齢者)のアセスメント	演習・討議 (面接)	本田・橋口	提示した事例2のアセスメントと関連図の作成に取り組む	4時間
7	事例2: 関連図の検討、看護診断と介入計画の立案	討議・演習 (面接)	本田・橋口	事例2の関連図を修正する 看護診断に基づく介入計画の立案に取り組む	4時間
8	事例2: 介入計画のディスカッション / まとめ	演習・討議 (面接)	本田・橋口	介入計画の発表および修正	4時間
9	医療的ケア児とその家族の実際、多職種連携	講義(面接)	本田・GS	配布資料の復習	4時間
10	事例3(自宅暮らしの医療的ケア児とその家族)のアセスメント	演習・討議 (面接)	本田・橋口	提示した事例3のアセスメントと関連図の作成に取り組む	4時間
11	事例3: 関連図の検討、個人・家族の看護診断と介入計画の立案	討議・演習 (面接)	本田・橋口	事例3の関連図を修正する 個人と家族、それぞれの看護診断における介入計画の立案に取り組む	4時間
12	事例3: 介入計画のディスカッション / まとめ	演習・討議 (面接)	本田・橋口	介入計画の発表および修正	4時間
13	ALSの病態、在宅療養に伴う保健・医療・福祉サービス	講義(面接)	橋口	配布資料の復習	4時間
14	事例4(在宅療養をはじめALS患者とその家族)のアセスメント	演習・討議 (面接)	橋口・本田	提示した事例4のアセスメントと関連図の作成に取り組む	4時間
15	事例4: 関連図の検討、個人・家族の看護診断と介入計画の立案	討議・演習 (面接)	橋口・本田	事例4の関連図を修正する 個人と家族、それぞれの看護診断における介入計画の立案に取り組む	4時間
成績評価方法・基準	レポートの提出(80%):学修の到達目標①・②(20%), ③・④(40%), ⑤(40%) 評価: 科目責任者、担当教員 授業態度・演習への参加(10%) 発表およびディスカッションへの参加(10%) 評価: 科目責任者、担当教員				
課題に対するフィードバック	ケーススタディ終了後にふりかえりを行う				

<p>教科書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤① 地域・在宅看護の実践② 第6版 医学書院 2023 ・ロイ適応看護モデル 第2版 医学書院 ・NANDA I 看護診断と分類 2021-2023
<p>オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他</p>	<p>本田歩美 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2号館217室（内線237） 学修に関する相談は随時受けますが事前にメールで連絡をしてください。 a-honda@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です この科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます</p>

開設科目名	公衆衛生看護学概論	科目コード	BSNGC205	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	高本佳代子	担当者	高本佳代子		
授業の概要(授業の目的)					
地域で生活する人々の健康を支援する看護活動として、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を学ぶ。また、地域の人々の健康を、ヘルスプロモーションを基軸に社会環境の変化、国際的活動と、包括的に捉える。さらに地域看護活動の場である、行政・施設、職域、学校、在宅看護との継続性、連動性を重視した地域看護活動の展開を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 公衆衛生看護の定義及び理念について説明できる。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築		
2. 公衆衛生看護の対象及び活動の場について説明できる。					
3. 公衆衛生の歴史を学び、新たな地域看護活動や健康課題について述べるができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護の定義や位置づけ、予防の概念、健康の概念	講義<対面>	高本	第1章公衆衛生看護学の概念を読んでおくこと。講義終了時に指示する。	4時間
2	公衆衛生看護活動の意義 健康の概念	講義<対面>	高本	講義終了時に指示する。	4時間
3	公衆衛生看護の構成 ヘルスプロモーション	講義<対面>	高本	講義終了時に指示する。	4時間
4	公衆衛生看護の歴史①公衆衛生看護の創成期 活動の始まりの頃を読んで	講義<対面>	高本	教科書;第1章公衆衛生看護の歴史を読んでおくこと。講義終了時に課題を提示する。	4時間
5	公衆衛生看護活動の実際 演習(地区踏査)地区活動の基本である地区踏査を行う。	FW<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
6	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果グループ内発表	GW<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
7	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果全体発表準備	GW<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
8	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果全体発表	討議<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
9	公衆衛生看護の実際①行政	講義<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
10	公衆衛生看護の実際②(産業・学校)	講義<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
11	地域の人々の保健関連行動① (健康課題への個人の対処行動)	講義<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
12	地域の人々の保健関連行動② (健康課題への地域組織としての対処) ソーシャルキャピタル	講義<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
13	社会活動の変化と健康課題①(社会情勢の変遷)	講義<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
14	社会活動の変化と健康課題②(国際交流、国際協力)	講義<対面>	高本	公衆衛生看護の課題と展望に係わる文献や情報から2つ以上のキーワードを挙げておく。	4時間
15	公衆衛生看護の課題と展望	講義<対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 70%(高本)、演習課題地区踏査結果(個人ワーク、グループワークプレゼンテーション結果) 30%(担当者全員)				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P: インターメディカル、国民衛生の動向: 厚生統計協会・公衆衛生看護学演習・実習: クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧: 日本看護協会出版会				
アドバイザー 学習相談 メッセージ その他	高本佳代子 火曜日 12:10~13:10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や地域活動に関心をもって演習で地域を体験してください。 * ICT の活用: 演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第12回は、「ソーシャルキャピタルの地域づくりを目指した取り組み—小学校単位」に関する研究成果を一部参照して講義します。				

開設科目名	公衆衛生看護管理論 I	科目コード	BSNGC206	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義、演習
責任者	高本佳代子	担当者	高本佳代子、田中貴子		
授業の概要(授業の目的)					
地域で生活する個人、家族および集団の特性をふまえて、地域看護活動の展開方法について教授する。特に地域の健康問題の把握や地域診断に基づく地域活動の展開過程の理論と方法を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 公衆衛生看護活動を行うために必要となる、地区診断の意義と目的を説明できる。			地域の人々との連携・協働/ケア環境の構築		
2. 公衆衛生看護活動から健康問題を抽出し、顕在的・潜在的なニーズを把握する方法を述べることができる。					
3. 地区踏査および地域の既存資料による情報収集と分析ができる。					
4. 地域の健康課題を優先順位をつけて抽出することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護管理の特色 公衆衛生看護活動計画の意義と目的、地域診断の概念	講義 <対面>	高本 ゲスト スピーカー	教科書の地域診断を読んでおくこと。 各講義終了時に指示する。	4時間
2	地域診断に必要な理論 地域診断の過程、地域集団特性の把握、	講義 <対面>	高本	各講義終了時に指示する。	4時間
3	地域診断の方法① 地域診断の資料の分析、統計指標作成演習	講義 <対面>	高本	各課題テーマに沿った自己学修・個人ワーク	4時間
4	地域診断の方法② 地域の健康課題を明らかにする方法、課題明確化の演習	講義 GW <対面>	高本 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
5	地域診断のプロセス 健康課題の分析・抽出、地域の健康課題を解決方法	講義 GW <対面>	高本 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
6	地域診断の実際① 対象地域における診断	討議 GW <対面>	高本 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
7	地区診断の実際② グループでの発表	討議 <対面>	高本 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
8	公衆衛生看護活動計画の総括 公衆衛生看護管理における今後の課題	講義 <対面>	高本 田中	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 70% (高本)、地区診断の個人課題・グループ発表 質疑応答 30% (全員)				
課題に対するフィードバック	地域診断の個人課題、グループ発表 フィードバック：発表後に説明する。課題についてはコメントをつけて返却する。 定期試験(中間・期末試験) フィードバック：出題意図を説明する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P：インターメディカル・国民衛生の動向：厚生統計協会・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	高本佳代子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や地域活動に関心をもって演習で地域を体験してください。 * ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 第 8 回について、「ソーシャルキャピタルの地域づくりを目指した取り組み-CKD 対策」に関する研究成果を一部参照して講義します。				

開設科目名	English II (英語Ⅱ)	科目コード	BSNGC207	開設期	2年前期
単位数 (履修区分)	2単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN、Eric	担当者	FORTIN、Eric		
授業の概要 (授業の目的)					
<p>The purpose of this course is to continue from English I with the most necessary English medical words and phrases that nurses might need in the hospital setting, either in communicating with foreign patients or hospital staff. It will also give students the opportunity to use the basic English that they have already studied in new hospital-related situations. Students will also learn about different ways people from other Asian countries pronounce English to help students communicate with students from St. Mary's College's sister institutions in Asia.</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
Students will continue to learn the most important nursing and medical English			持続可能な個人・集団・国の健康		
Students will continue to develop vocabulary and reading skills.					
Students will continue to develop writing skills.					
Students will continue to develop speaking skills through short presentations.					
Students will continue to learn about other countries and cultures.					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction to Course and Review of English I	講義(面接)	FORTIN	Unit 1 Preparation	4 時間
2	Unit 1: Hospital Departments	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 2 Preparation	4 時間
3	Unit 2: Application Forms	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 3 Preparation	4 時間
4	Unit 3: Parts of the Body	講義(面接)	FORTIN	Review	4 時間
5	Country Study: Korea	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 4 Preparation	4 時間
6	Unit 4: Illnesses	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 5 Preparation	4 時間
7	Unit 5: Daily Routine	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 6 Preparation	4 時間
8	Unit 6: Hospital Objects	講義(面接)	FORTIN	Review & Test Study	4 時間
9	Small Test, Country Study: The Philippines	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 7 Preparation	4 時間
10	Unit 7: Location of Hospital objects	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 8 Preparation	4 時間
11	Unit 8: Hospital Directions & Instructions	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 9 Preparation	4 時間
12	Unit 9: Directions (Outside the Hospital)	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 10 Preparation	4 時間
13	Unit 10: Chatting with a Patient	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 11 Preparation	4 時間
14	Unit 11: Taking a Medical History	講義(面接)	FORTIN	Review & Unit 12 Preparation	4 時間
15	Unit 12: Hospital Procedures, Review	講義(面接)	FORTIN	Report & Presentation Preparation	4 時間
成績評価方法・基準	Final exam: 40%; Small test: 20%; Reports: 25%; Presentation: 15%				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の復讐の模擬試験の解答チェックを行う ・レポートの書き直しの指示 				
教科書	Vivian Morooka & Terri Sugiura, 『VITAL SIGNS Revised Edition』, Nan'un-do, Tokyo, 2018				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館 2F L621 研究)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	国際保健論	科目コード	BSNGC208	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、城石幸博		
授業の概要(授業の目的)					
世界の人々の健康と、それを取り巻く保健医療状況を概観し、歴史的な流れ(その国・地域の縦の流れ)と、現時点での世界の国・地域とのつながり(横の流れ)が人々の健康に影響を与えていることを学ぶ。そのうえで、健康や命、人間の尊厳とは何かを考える。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1、国際保健の歴史を説明できる				持続可能な個人・集団・国の健康	
2、世界の健康問題とその変遷を理解できる					
3、現在の世界の保健医療問題を知り、日本の現状と比較できる					
4、国際協力と国際医療協力について説明できる					
5、国際医療協力における日本の立場、役割を理解する					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際保健とは	講義 (対面)	秦野	・日本国際保健医療学会学生部会のホームページを訪問し、「国際保健」とはどのようなものかを読んでおく ・復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
2	人々の健康にかかわる国際機関	講義 (対面)	秦野	・教科書 p66-98 を読んでおく、 国連諸機関の中で、人々の健康に直接、関与する機関について調べ、まとめておく。復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
3	世界の健康問題(非感染性疾患を中心に)	講義 (対面)	秦野	・日本でみられる生活習慣病について調べ、まとめておく ・復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
4	世界の健康問題(結核、マラリア、エイズなどの感染症を中心に)	講義 (対面)	秦野	・細菌・ウイルス学を振り返り、細菌とは、ウイルスとは、寄生虫とは、を復習しておく 復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
5	開発途上国、中進国の保健医療の状況	講義 (対面)	秦野	・開発途上国とは、どのような国々であるのか調べる ・開発途上国の中で、ご自分が興味ある国の保健医療の状況について調べる ・復習 2時間	予習 3時間、 復習 1時間
6	世界の健康問題(世界のエイズ問題と対策、栄養問題、人畜共通感染症、など)	講義 (対面)	城石	・世界のエイズの状況を調べておく ・人畜共通感染症はどういうものか調べておく	予習 3時間、 復習 1時間
7	持続可能な開発目標、世界が人々の健康向上のために目指しているもの、など	講義 (対面)	城石	第2回で学修した国連機関の中で、特に、「世界保健機関」「国連開発計画」について復習しておく	予習 3時間、 復習 1時間
8	国際保健医療協力の現状と課題 日本の国際保健医療協力について	講義 (対面)	城石	JICA(国際協力機構)について調べておく	予習 3時間、 復習 1時間
成績評価方法・基準	期末試験 60%(評価者 秦野)、授業後に提示される forms への参加(40%)				
課題に対するフィードバック	Forms への回答を集計し、次の授業の際にフィードバックを行う。				
教科書	新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2022				
参考書・参考文献	適宜、参考となる資料は配布します				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	秦野環 研究室 2号館一階、214 研究室 火曜日、12時10分～13時10分、 その他は事前にメールで連絡ください (office 365) その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	国際看護論 I	科目コード	BSNGC209	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、浅野美智留、川上桂子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>国際看護を担う一員になる存在であることを自覚する。</p> <p>グローバル化が進んだ現代社会において、看護の対象である個々の人間を尊重しながら、適切な看護を展開する基礎的能力を養う。</p> <p>世界の健康問題を概観したうえで、社会的・文化的・宗教的に配慮した看護を展開する基礎的能力を養う。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1、国際保健論で学修した日本や諸外国における健康問題を振り返り、看護を必要とされている現状を理解できる				持続可能な個人・集団・国の健康	
2、健康問題をおこす政治的・経済的・社会的・文化的要因があることを説明できる					
3、様々な健康問題が、国や地域を超えて人々に影響を与えていることを理解できる					
4、国際看護を考えるために、既に学修した他の科目を統合させ、活用することができる。					
5、文化的・社会的背景を考慮した看護を考えることができる					
6、興味ある国の健康問題を調べ、実践可能な看護について考える					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際看護とは	講義 <対面>	秦野	・国際保健論の授業内容を振り返っておく ・自身の居住地(市町村)の在留外国人数を調べておく ・教科書 p2-8 を読んでおく	予習 1 時間、 復習 1 時間
2	グローバル社会に求められる看護	講義 <対面>	秦野	・グローバル社会とはどういうことかと調べておく ・教科書 p36-47 を読んでおく	予習 3 時間、 復習 1 時間
3	在留外国人の健康問題と看護	講義 <対面>	秦野	・教科書 p48-63、p206-216 を読んでおく ・外国人が日本で生活するに当たり困難になるとと思われる事項を考えてくる。	予習 3 時間、 復習 1 時間
4	世界の母子保健の現状と必要な看護	講義 <対面>	浅野	・予習 1 時間：事前に紹介する URL に目を通す。 ・復習 3 時間 Forms に講義に内容に対する考察を回答する。	予習 3 時間、 復習 1 時間
5	世界の保健医療の現状と課題、必要な看護を考える(JICA 研修生プレゼンテーションを含む)	講義 <対面>	秦野	国際保健論で学修した世界の健康問題を復習し、看護で貢献できることは何かを考えておく	予習 3 時間、 復習 1 時間
6	文化や慣習が人々の健康に及ぼす影響を考える	講義 <対面>	秦野	・女性性器切除とは何か、日本や諸外国において、人々の健康に影響を与えている慣習を調べ、1,200 字程度にまとめ、授業の際に提出する。	予習 3 時間、 復習 1 時間
7	人々に行動変容を起こさせることの困難さを考える	講義 <対面>	秦野	視聴覚教材からの学修をレポートする(forms でフォーマットは準備します)	予習 3 時間、 復習 1 時間
8	国際看護活動	講義 <対面>	秦野 川上	国際保健医療協力でどのような看護活動があるのか調べる 教科書 p 160-216 を読んでおく	予習 3 時間、 復習 1 時間
成績評価方法・基準	期末試験 60% (評価者 秦野)、授業後に提示される forms への参加 40%				
課題に対するフィードバック	授業後の forms への回答を集計し、次回の講義でフィードバックを行う				
教科書	新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2022				
参考書・参考文献	参考資料は、適宜配布します。				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	<p>秦野環 オフィスアワー 火曜日、12 時 10 分～13 時 10 分、</p> <p>学習相談：メールでご連絡ください、アポイントメントをとっていただき対応したいと思います</p> <p>国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにもぜひ、体験していただきたいと思います</p> <p>その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です</p> <p>第 8 回においては、「緊急流入が難民定住地の長期滞在女性難民に及ぼした影響 ウガンダ難民定住地での調査報告、その 1」の結果の一部を参照しながら授業を行います。</p>				

開設科目名	English Practice Abroad	科目コード	BSNGC210	開設期	2年前期
単位数(履修区分)	3単位(自由)	時間数	90時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		

授業の概要(授業の目的)

This class is part of the Global Studies course at St. Mary's College. Students will spend two weeks at Canossa College in the Philippines, near Manila. At this institution, one of St. Mary's College's sister colleges, students will have intensive English classes as well as cultural activities in morning and afternoon sessions. The English classes will be general communication classes during the first week, and by the end of the second week they will be asked to host their own farewell party. They will also be able to observe and participate in nursing classes for Filipino nursing students.

学修の到達目標

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

- 1) Students will develop confidence in speaking about various topics.
- 2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.
- 3) Students will be able to conduct common situational conversations.
- 4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.
- 5) Students will have direct contact with the Filipino culture.

持続可能な個人・集団・国の健康

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

Unit	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	(Unit 1: St. Mary's College) Pre-Departure Preparation	講義<面接>	Fortin	Have English motivation and mindset	2時間
2~44	(Units 2-44: Canossa College, The Philippines) Orientation and Diagnostic Tests	講義<面接>	Aramil-Tubana	Prepare greetings & Learn about Filipino culture	2時間
	Introduction and Greetings	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Travel and Directions	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Time, Date, and Weather	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Numbers, Money, and Shopping	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Cultural Expressions and Making Friends	講義<面接>	Aramil-Tubana		2時間
	Communication Difficulties	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Emergency and Health	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Work and Dining	講義<面接>	Aramil-Tubana	Homework/Review	2時間
	Communication Activities	講義<面接>	Aramil-Tubana	Prepare for hosting farewell party	2時間
45	(Unit 45: St. Mary's College) Post-Arrival Discussion	講義<面接>	Fortin	Prepare summaries for discussion	2時間

成績評価方法・基準

Daily class participation/assignments: 30%; Final Filipino staff evaluation: 30%; Engagement with Filipino faculty/staff/students outside class: 20%; Post-Return discussion session & report: 20%

課題に対するフィードバック

- ・フィリピンで授業後(夕方)の反省会
- ・帰国後の反省会(英語・フィリピンの文化について学んだこと)

教科書

特になし

参考書・参考文献

特になし

オフィスアワー
学習相談
メッセージ
その他

Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30

開設科目名	Intercultural Awareness	科目コード	BSNGC211	開設期	2年後期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		
授業の概要(授業の目的)					
This class is the third class of the Global Human Resources course at St. Mary's College. In this class students will enhance their awareness of both the differences as well as the similarities among various cultures around the world. They will use the English that they have learned previously to express their understanding and opinions about those cultures and their customs.					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will develop confidence in speaking about various topics.				持続可能な個人・集団・国の健康	
2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.					
3) Students will be able to conduct common situational conversations.					
4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Understanding Intercultural Diversity	講義(面接)	FORTIN	Develop your Intercultural Awareness	4時間
2	Food, Culture, and Society: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
3	Better Lifestyles in Different Cultures: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
4	Being an Intercultural Traveler: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
5	Cultivating Global Citizenship: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
6	Attitudes toward Gender Roles: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
7	Causes of War and World Peace: Discussion	講義(面接)	FORTIN	Review and preparation for next class	4時間
8	Engaging in more Globalization: Final Presentations	講義(面接)	FORTIN	Final review and reflection	4時間
成績評価方法・基準	Discussion participation/leadership: 40%; Final report: 30%; Final presentation: 30%				
課題に対するフィードバック	授業中のテーマによって毎回浅い文化と深い文化の違いの考慮				
教科書	教員のプリント				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				